取 扱 説 明 書

ＴＰ／ＴＰＴ－１９０２Ｅ／Ｃ

ＲＥＶ．１．８

ナダ電子株式会社

技２Ｍ－０７０６０４

改 訂 記 録

REV NO.	ページ	改 訂 内 容	日 付
１．０	Ⅰ-1	□仕様　9.ﾊﾞｰｺｰﾄﾞ　追加	08.09.05
１．１	Ⅰ-2	□仕様　（注意）　内容追加	10.03.03
１．２	Ⅱ-16	FS ＆　機能内容を一部削除	10.03.10
	Ⅱ-20	DC2 S　機能内容に説明追記	
１．３	Ⅰ-20	□ディップスイッチの設定　（注3）（注4）　追加	11.11.30
１．４	Ⅰ-3	□付属品　電源ｹｰﾌﾞﾙVHR-3N　誤記修正（1m→1.5m(ｱｰｽ線 1m)）	12.08.02
１．５	Ⅰ-2	□付属品　TP専用付属品　ｺﾈｸﾀ変更(AXM126415→XG4M-2630-T)	13.03.08
	Ⅰ-13,14	3.4.信号入出力用ｺﾈｸﾀ　ｺﾈｸﾀ変更(松下電工㈱→オムロン㈱)	
１．６	Ⅰ-2	□付属品　TPT専用付属品　ｺﾈｸﾀ変更(17JE-23250→XM3A-2521)	13.05.28
	Ⅰ-16	3.信号入出力用ｺﾈｸﾀ　ｺﾈｸﾀ変更(松下電工㈱→オムロン㈱)	
１．７	Ⅲ-11	外観図(TP-1902E電源無し DC5V) コネクタ背面出し仕様　追加	13.08.07
１．８	Ⅲ-14	外観図（ND123-031）　注意、NOTE5　追加	14.06.13

＊＊＊　目　次　＊＊＊

□ 概　要 Ⅰ-1
□ 特　長 Ⅰ-1
□ 仕　様 Ⅰ-1
□ 文字種類 Ⅰ-2
□ 付属品 Ⅰ-2
□ 印字見本 Ⅰ-3
□ 設置について Ⅰ-3
□ 使用上の注意事項 Ⅰ-3
□ 禁止事項 Ⅰ-3
□ 保証期間と修理対象期間について Ⅰ-3
□ ご使用になる前に Ⅰ-4
□ 各信号の説明 Ⅰ-5
□ 信号の入出力タイミング Ⅰ-8
□ 入出力回路構成 Ⅰ-11
□ コネクタ表（ＴＰの場合） Ⅰ-12
□ コネクタ表（ＴＰＴの場合） Ⅰ-15
□ 結線 Ⅰ-17
□ ディップスイッチの設定 Ⅰ-20
□ 機能説明 Ⅰ-21
□ テスト印字 Ⅰ-22
□ 印字中のペーパーエンドについて Ⅰ-22
□ エラー信号 Ⅰ-23
□ 印字スピードと印字分割について Ⅰ-24
□ 電源付仕様での固定印字分割制御について Ⅰ-24
□ 間欠印字について Ⅰ-24
□ カット動作と印字位置について Ⅰ-24
□ バッファフル印字について Ⅰ-25
□ 内蔵メモリについて Ⅰ-25
□ アイソレート仕様でのデータ転送について Ⅰ-26
□ 紙送り許容差について Ⅰ-26
□ 動作しない時について Ⅰ-27
□ ＴＰ／ＴＰＴ－１９０２／Ｃとの互換性について Ⅰ-28
□ Visual Basic (Ver 5.0／6.0) による印字サンプルプログラム Ⅰ-30

□ 制御コード一覧 Ⅱ-1
□ 制御コード分類 Ⅱ-3
□ 初期設定内容 Ⅱ-5
□ 制御コード解説 Ⅱ-6

□ キャラクタ・コード表 Ⅲ-1
□ 漢字第一水準 Ⅲ-2
□ 漢字第二水準 Ⅲ-5
□ 特殊文字 Ⅲ-8
□ 外観図 Ⅲ-11

□ 概　要

ＴＰ／ＴＰＴ－１９０２Ｅ／Ｃは、ラインサーマル方式のサーマルプリンタです。
英数字、カナ文字のキャラクタジェネレータを内蔵、外字 及び グラフィックなどのイメージによる印字も行える多機能なプリンタです。

□ 特　長

１．１２ドット／㎜のサーマルラインヘッド 内蔵
２．ＪＩＳ第１、第２水準の漢字の印字
３．専用の高解像度フォント２３７種 内蔵
４．ダウンロード文字や外字、ユーザー特有のイメージ・データ等の登録・印字が可能
５．各種バーコード印字可能
６．用紙のオートローディング機能より 用紙交換が容易
７．オートカッターにより 用紙のパーシャルカットが可能（ＴＰ／ＴＰＴ－１９０２ＥＣのみ）

□ 仕　様

	ＴＰ／ＴＰＴ－１９０２Ｅ／Ｃ	
１．インターフェース	パラレル(セントロニクス準拠)、シリアル(ＲＳ－２３２Ｃ)	
２．印字方式	ラインサーマル方式	
３．ドット総数	５７６ ドット／ライン	
４．ドット密度	１２ ドット／㎜	
５．印字速度	最大　２５㎜／s	
６．紙送り速度	最大　２５㎜／s	
７．印字有効長	４８．８㎜	
８．印字桁数／文字寸法	桁数	寸法（幅㎜×高さ㎜）
ＡＮＫ　16×38 ﾄﾞｯﾄ	３６桁 （文字間０ドット）	１．３３×３．１７
漢字　24×24 ﾄﾞｯﾄ	２４桁 （文字間０ドット）	２×２
９．バーコード	２ｏｆ５（ＩＴＦ），ＪＡＮ（１３，８）， ２ｏｆ７（ＮＷ７），３ｏｆ９（ＣＯＤＥ３９）， ＵＰＣ－Ａ，ＵＰＣ－Ｅ	
１０．信頼性 メカニズム オートカッタ	 ５×１０^{7}パルス　用紙走行距離３０km （印字率12.5%） ３０万回　（ＭＣＢＦ）	
１１．記録紙 紙幅 ロール紙外径 長さ 巻心内径 巻心外径 紙厚 坪量 弊社品番	感熱紙 $57.5^{+0.2}_{0}$ ㎜ $\phi 50^{0}_{-0.5}$ ㎜ ３０±１ ｍ φ１２±０．２ ㎜ φ１８±０．２ ㎜ ６４±５ μｍ ５８±５ ｇ／ｍ^{2} ＮＰ－５８０	
１２.オートカッタ TP/TPT-1902ECのみ	 サーキュラーカッタ方式による パーシャルカット（切り残し量 約２㎜）	

１３．動作環境 温　度 湿　度	５～４０℃ ３５～８０%RH　(35℃までは80%, 40℃では55%とする) 結露無きこと		
１４．電　源	( )内の数値は印字率を示す。		
仕　　様	DC5V	DC24V	AC100V(50/60Hz)
入力電圧	DC5V±0.25V	DC18～36V	AC85～132V　(注)
平均電流	約1.7A(50%)	約0.3A(50%)	約0.1A(50%)
ピーク電流	2.9A(50%)	0.9A(50%)	0.4A(50%)
待機時電流	約150mA	約60mA	約40mA
１５．質　量			
ＴＰ－１９０２Ｅ	約　２８０ｇ	約　５３０ｇ	約　６００ｇ
ＴＰ－１９０２ＥＣ	約　３３０ｇ	約　５８０ｇ	約　６５０ｇ
ＴＰＴ－１９０２Ｅ	－	約　６８５ｇ	約　１０３０ｇ
ＴＰＴ／１９０２ＥＣ		約　７３５ｇ	約　１０８０ｇ
１６．スイッチ内ＬＥＤの状態	待機時・・・消灯		

（注意）製品に使用されていますプラグ付電源ケーブルは国内向のため最大使用電圧は 125V となっています。125V 以上で使用される場合は、プラグを変更して下さい。
型式末尾-6 として AC85～264V 仕様の製品があります。型式末尾-6 使用の場合当取説の AC85～132V を AC85～264V に置き換えて読んで下さい。また 125V 以上で使用される場合、あるいは国外での使用時には使用国に応じた電源プラグを取り付けてください。

□　文字種類

１．ＡＮＫ
- 1)標準文字 ····· １６×３８ドット
- 2)スクリプト文字····· ８×１９ドット

２．漢字第一水準、第二水準、特殊文字
- 1)２４ドット全角····· ２４×２４ドット
- 2)２４ドット1/4角····· １２×１６ドット
- （注）但し、特殊文字は２４×２４ドットのみ

３．外字
- 1)２４ドット全角····· ２４×２４ドット
- 2)１６ドット全角····· １６×１６ドット

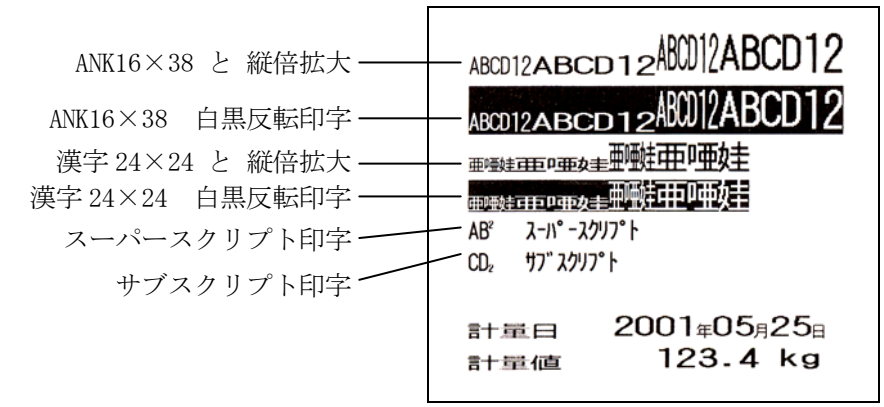
４．ダウンロード文字
- ８×１ドット～１２８×１２８ドット

□　付属品

ロールシャフト　（Ｓ－１１）····· １本
ロール紙　（ＮＰ－５８０）····· １巻
取扱説明書（本書）····· １部
操作説明書 ····· １部
ＴＰ専用付属品
- インターフェースケーブル（１m，ＸＧ４Ｍ－２６３０－Ｔ）····· １本
- 電源ケーブル（電源付の場合のみ）
  - ＡＣ１００Ｖ　１．５m（アース線　１m）　ＶＨＲ－３Ｎ····· １本
  - ＤＣ２４Ｖ　１m　ＶＨＲ－２Ｎ····· １本

ＴＰＴ専用付属品
- インターフェースコネクタ（ＸＭ３Ａ－２５２１）····· １個
- 電源ケーブル（ＤＣ電源仕様の場合のみ　１m，ＶＨＲ－２Ｎ）····· １本

□　印字見本



□　設置について

１．本機は感熱紙を使用しています。その為 高温、多湿での環境下での使用は特に注意して下さい。
２．振動により印字、紙送りに影響が出る場所での使用はしないで下さい。
３．粉塵により、ヘッドにキズが入る、ギアが損傷する等の問題が発生する場合があります。粉塵による不具合が発生しない様 配慮して下さい。

□　使用上の注意事項

１．メカ部の主な板金部（プレス部）は メッキ鋼板を使用している為、端面に多少の錆が発生する場合があります。
２．低温時で使用する場合、印字開始時にサーマルヘッドが冷えているため、初期印字が薄くなることがあります。
３．高温時で使用する場合、印字ににじみ等が発生する場合があります。
４．供給電圧が規格値内にあっても低電圧値の場合は印字濃度が薄くなります。
５．製品に振動が加わる場所での使用はご相談ください。微弱な振動でも長時間加わると直接的な障害の他に二次的障害により予想外の不具合が発生する場合があります。

□　禁止事項

１．印字中及び印字終了直後は、サーマルヘッド近傍、モータ表面は高温になるため、直接触れないこと。
２．結露状態での使用は行ってはならない。もし結露した場合は、結露がなくなるまでプリンタに通電しないこと。
３．記録紙及びプラテンに異物などの付着のないこと。
４．ヘッドダウン状態での紙の引き抜き（正逆方向）は行わないこと。

□　保証期間と修理対象期間について

１．当プリンタの保証期間は、出荷後６ヶ月間とします。
２．保証期間を過ぎたもの 及び 保証期間内でユーザー側責任（使用範囲を越えた使用並び使用中の落下などによる破損、天災など）による故障については保証外とします。
３．保証期間内においても寿命を越える使用による故障は保証外とします。
４．修理対象期間は製造中止後５年間とします。
５．メカニズム等の一部部品については、保全を前提としていないためユニットごと交換する場合がありますのでご了承下さい。
６．本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求については、いかなる責任も負いかねますので、予めご了承下さい。

□　ご使用になる前に

お買い上げいただきましたプリンタを使用するには、当取扱説明書に従い

１．各信号の内容を確認
２．各信号をホスト側と結線する
３．使用するタイプを選択（ディップスイッチの設定）
４．制御コマンドを確認しながら動作プログラムの開発
５．開発終了後の実際の使用環境下での動作テスト

の順で行うことになります。

当取扱説明書には、パネルタイプのＴＰと、デスクトップタイプのＴＰＴの両機種の内容が記載されています。

信号名や信号内容は同じですが、信号及び電源コネクタに違いがありますので接続には各機種の
□ コネクタ表、□ 結線の項を確認して行って下さい。

それでは、次ページの□ 各信号の説明をお読み下さい。

□　各信号の説明

当取扱説明書に記載される各入出力の“ＨＩＧＨ”、“ＬＯＷ”レベルは

ＨＣ－ＭＯＳレベル　“ＨＩＧＨ”レベル：ＨＣ－ＭＯＳ規格での論理１(通常５Ｖを示す)

“ＬＯＷ”レベル　：ＨＣ－ＭＯＳ規格での論理０(通常０Ｖを示す)

ＲＳ－２３２Ｃ規格　“ＨＩＧＨ”レベル：ＲＳ－２３２Ｃ規格の＋側電圧範囲

“ＬＯＷ”レベル　：ＲＳ－２３２Ｃ規格の－側電圧範囲

を示します。

１．パラレルデータ入出力端子（セントロニクス準拠　ＨＣ－ＭＯＳレベル）

1)ＤＡＴＡ０～ＤＡＴＡ７

８ビットパラレルデータの受信端子です。

これらの端子はパラレルデータ受信時において、ＢＵＳＹ信号が“ＬＯＷ”レベルを出力している場合に$\overline{\text{ＳＴＲＢ}}$端子が“ＬＯＷ”レベルになったことを確認してデータ入力を行います。

この時、データの読み取りタイミングとして$\overline{\text{ＡＣＫ}}$端子に“ＬＯＷ”レベルを出力します。

2)$\overline{\text{ＳＴＲＢ}}$

ホスト側からデータセット信号を入力する端子です。

プリンタがこの端子の信号レベルを検出するのは、ＢＵＳＹ信号が“ＬＯＷ”レベルの時です。

$\overline{\text{ＳＴＲＢ}}$端子が“ＬＯＷ”レベルであれば、プリンタはＤＡＴＡ０～ＤＡＴＡ７信号上にホスト側からデータが送られてきたと見なし、データの読み取りを行います。プリンタとデータの読み取りを完了すると$\overline{\text{ＡＣＫ}}$パルスを出力します。

3)$\overline{\text{ＡＣＫ}}$

データ読み取り信号です。$\overline{\text{ＳＴＲＢ}}$に対する応答信号で“ＬＯＷ”パルスを出力します。

（アイソレート仕様では出力しません）

4)ＢＵＳＹ

この信号はプリンタがデータ受信可能であることをホスト側に知らせる信号です。

ホスト側はＢＵＳＹ信号が“ＬＯＷ”レベルであることを確認した後、データを出力して下さい。

この端子が“ＨＩＧＨ”レベルになるのは次の場合です。

①システムリセット中（電源投入時、$\overline{\text{ＩＮＩＴＩＡＬ}}$信号入力時）

②データ読み取り中

③テスト印字中

２．シリアルデータ入出力端子（ＲＳ－２３２Ｃ準拠）

1)ＲＸＤ

この端子はシリアルデータ受信用の入力端子です。ホスト側からのシリアルデータがこの端子から受信可能になるのは、ＤＴＲ端子が“ＨＩＧＨ”レベルとなった後です。

2)ＤＴＲ

この端子はシリアルデータ受信において使用します。
この信号はプリンタがデータ受信可能であることをホスト側に知らせる信号です。
この端子が“ＬＯＷ”レベルになるのは次の場合です。

①システムリセット中（電源投入時、$\overline{\text{ＩＮＩＴＩＡＬ}}$信号入力時）
②受信バッファフル時
③シリアルデータ受信エラー時（□エラー出力　参照）
④テスト印字中

本信号の“ＬＯＷ”レベル出力から、１６バイトのオーバーランデータの受信は保証されますが、それ以降のデータは無視されます。

3)ＲＴＳ

“ＨＩＧＨ”レベルに固定

３．共通入出力端子（ＨＣ－ＭＯＳレベル）

1) Ｐ．Ｅ．

ペーパーエンド時（記録紙が無い時）に“ＨＩＧＨ”レベルを出力します。
ペーパーエンドでは印字動作を行いません。
ペーパーエンド時には ＦＥＥＤスイッチのＬＥＤが約１秒の周期で点滅します。

2) $\overline{\text{ＩＮＩＴＩＡＬ}}$

電源が投入されている場合に“ＬＯＷ”パルスを加えることにより、内部を初期化して起動します。
制御はオープンコレクタトランジスタで行って下さい。
（電源投入時にはＯＦＦにするか、ＯＮからＯＦＦにする。）
７４ＨＣ０４等のＩＣで制御する場合には注意が必要です。“ＨＩＧＨ”レベルのまま電源を投入すると初期化用コンデンサが既に充電されているため、初期化されない場合が発生するので電源投入後に当信号を入力する必要があります。
初期化動作は$\overline{\text{ＩＮＩＴＩＡＬ}}$信号が解除された時より始まり、内部ＩＣを初期化しメモリーの初期設定を行います。
各出力信号（ＢＵＳＹ、$\overline{\text{ＥＲＲＯＲ}}$等）は$\overline{\text{ＩＮＩＴＩＡＬ}}$信号を解除後１００ms 以上経過後に有効になります。

3) $\overline{\text{ＥＲＲＯＲ}}$

次の場合に“ＬＯＷ”レベルを出力します。

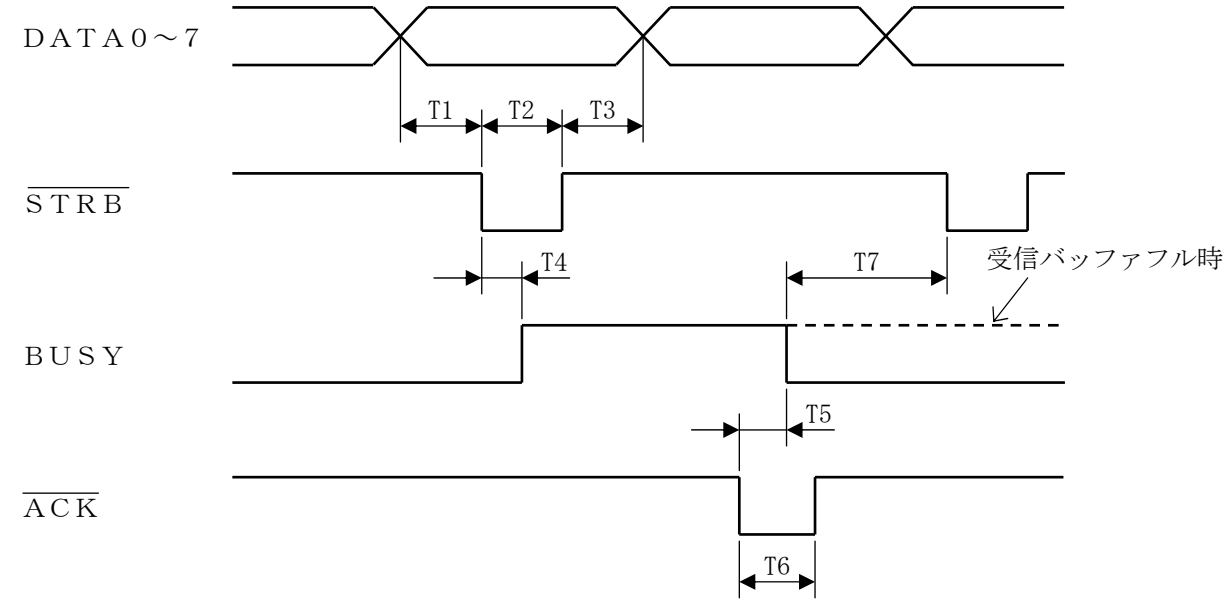
①プリンタ温度エラー
②ヘッド温度監視用サーミスタの断線時
③ペーパーエンド時
④ヘッドアップ時
⑤カッタ付の場合にはカッタエラー時

詳細は別項 □ エラー出力について を参照して下さい。

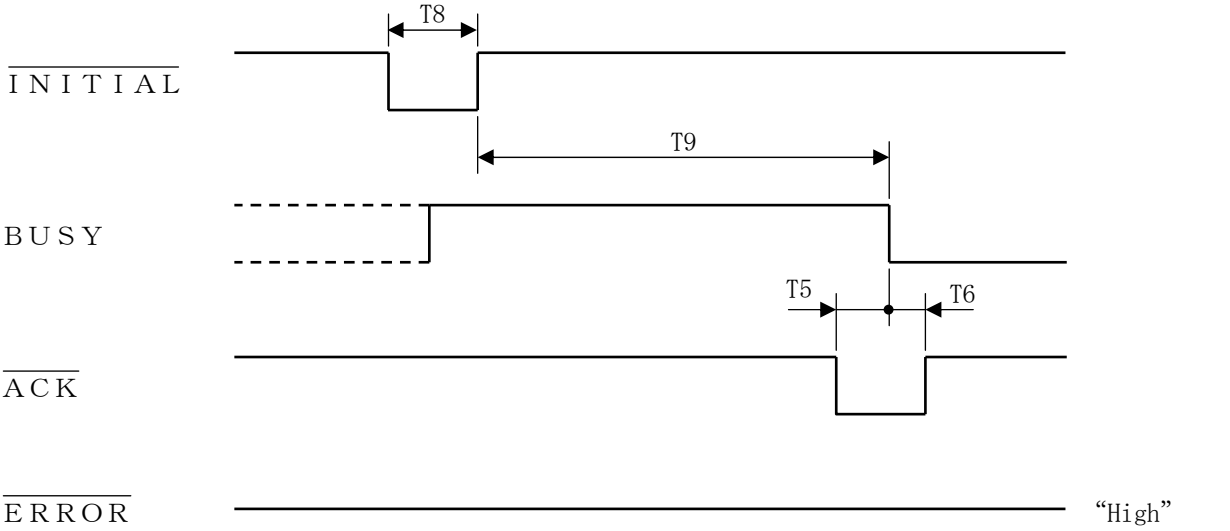
□　信号の入出力タイミング

１．パラレル（セントロニクス準拠）

1)データ入力インターフェース



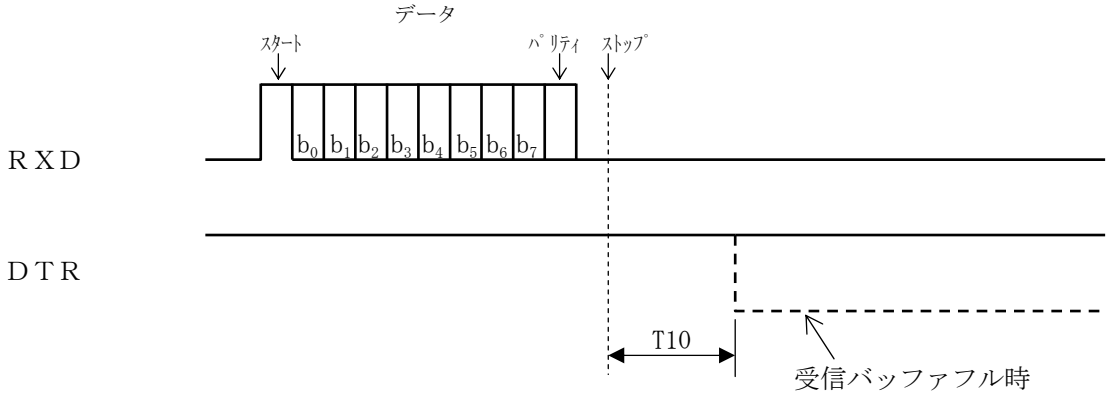
2)イニシャル入力



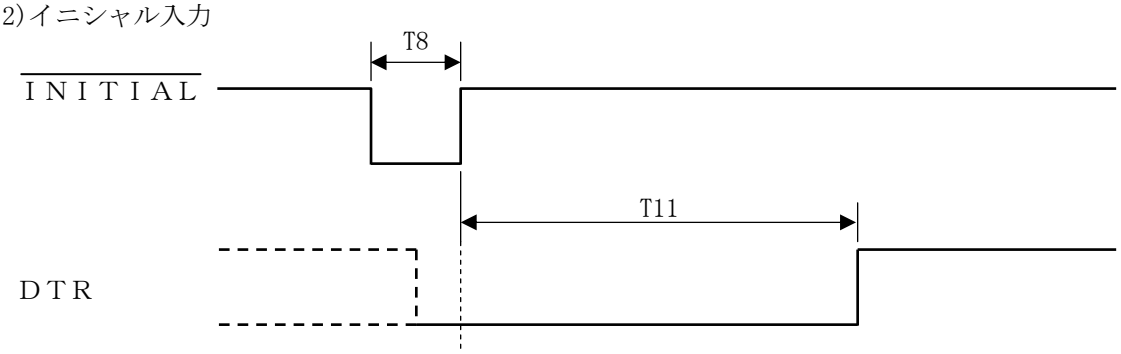
（注意）当タイミングチャート内のＡＣＫ信号は、アイソレート仕様では使用出来ません。

２．シリアル（ＲＳ－２３２Ｃ準拠）

1)入出力シリアルインターフェース



2)イニシャル入力



３．タイミング時間表

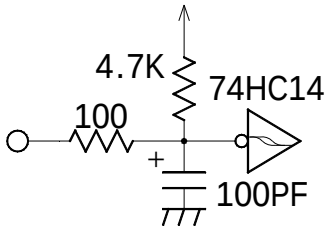
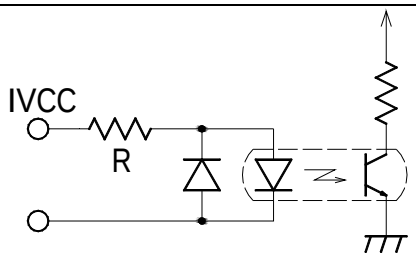
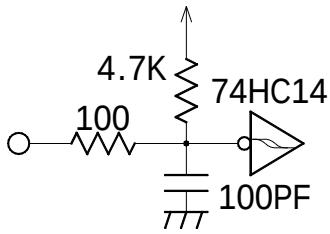
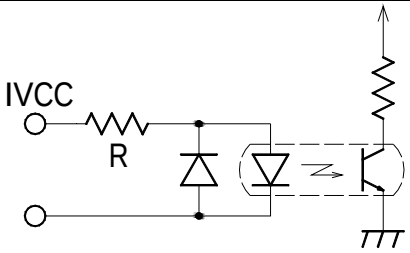
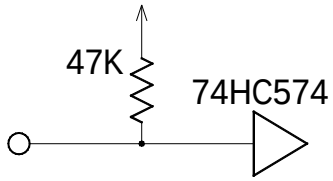
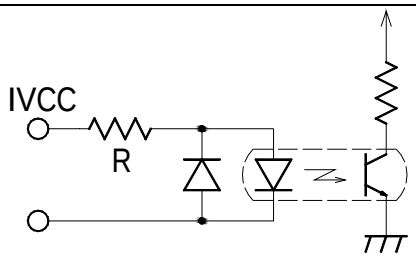
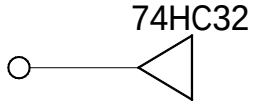
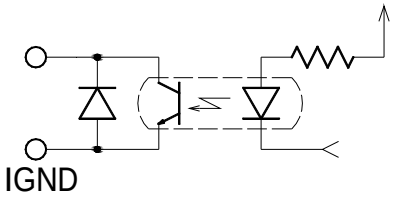
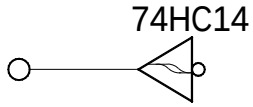
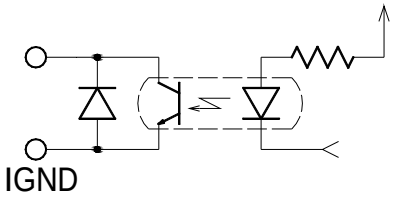
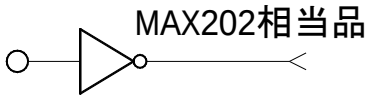
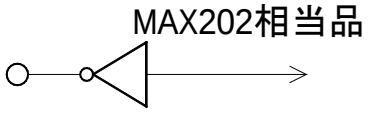
略号	ＭＩＮ	ＴＹＰ	ＭＡＸ
Ｔ１	０．１(100)		
Ｔ２	１．０(20)		
Ｔ３	０		
Ｔ４			１．０(30)
Ｔ５			０．１
Ｔ６	１．０		
Ｔ７	５．０		
Ｔ８	１００		
Ｔ９			２．０ｓ
Ｔ１０			１００
Ｔ１１			２．０ｓ

(注 1) 指示無き単位はμｓです。

(注 2) () 内の数値はアイソレート仕様の数値です。

(注 3) 上記各時間値は、信号入出力用コネクタ 各出力端子オープン状態での規定値であり、ホスト側にノイズ吸収用のコンデンサ等が装着されている場合は、各時間が大きくなる場合があります。

□　入出力回路構成

名　　称	ＴＰ／ＴＰＴ 標準	ＴＰ アイソレート仕様
$\overline{\text{INITIAL}}$		
$\overline{\text{STRB}}$		
DATA0 ｜ DATA7		
BUSY $\overline{\text{ERROR}}$ $\overline{\text{ACK}}$		
P．E．		
RXD		
DTR RTS		

（注意）アイソレート仕様にて使用されるＲはアイソレート電圧（ＩＶＣＣ）により下記の値となります。

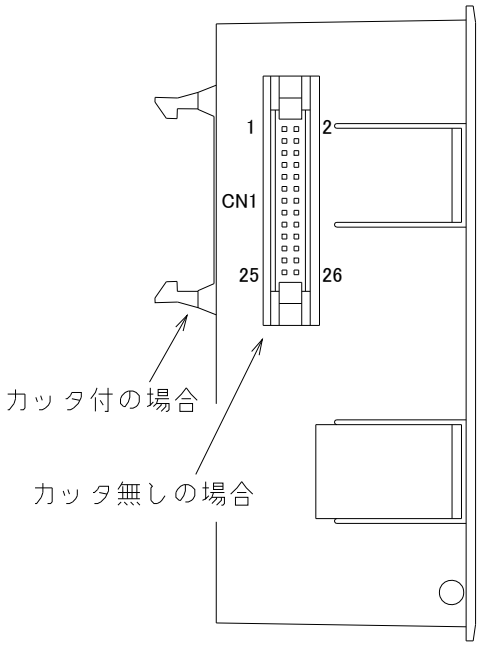
２４Ｖ…２．４ＫΩ　１２Ｖ…１．２ＫΩ　５Ｖ…５１０Ω

使用されるフォトカプラーはシャープＰＣ８１７，東芝ＴＬＰ５２１相当品で、出力側の使用最大電圧は３５Ｖ、電流は５０ｍＡ以内として下さい。

□　コネクタ表（ＴＰの場合）

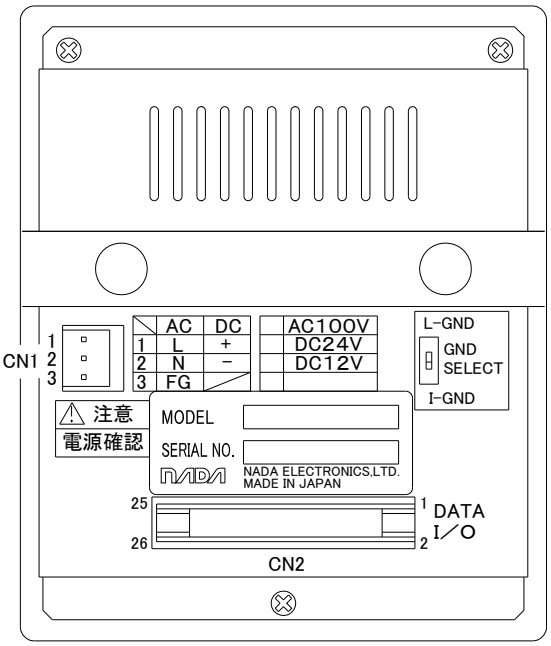
１．コネクタ配置図

電源無し
（ＤＣ５Ｖ仕様）



ＣＮ１：信号入出力用

電源付
（ＤＣ２４Ｖ、ＡＣ１００Ｖ仕様、ｱｲｿﾚｰﾄ仕様）



ＣＮ１：電源供給用
ＣＮ２：信号入出力用

ＣＮ１、ＣＮ２の表示はプリンタ本体には明示されていませんので、当図を参照して配線して下さい。
ＧＮＤ　ＳＥＬＥＣＴスイッチはアイソレート仕様の場合にのみ設けられます。

２．電源供給用コネクタ（ＣＮ１）　電源付プリンタのみ

PIN No．	ＤＣ２４Ｖ仕様	ＡＣ１００Ｖ仕様	アイソレート仕様
１	＋２４Ｖ	ＡＣ１００Ｖ	ＡＣ１００Ｖ
２	ＧＮＤ	ＡＣ１００Ｖ	ＡＣ１００Ｖ
３		ＦＧ	ＦＧ
プリンタ側コネクタ	Ｂ２Ｐ－ＶＨ	Ｂ３Ｐ－ＶＨ	Ｂ３Ｐ－ＶＨ
ケーブル側コネクタ	ＶＨＲ－２Ｎ	ＶＨＲ－３Ｎ	ＶＨＲ－３Ｎ

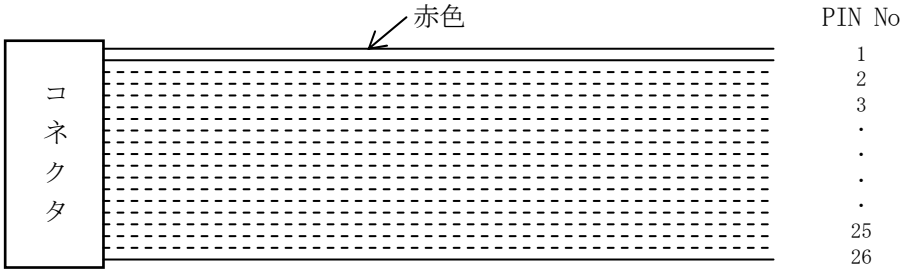
コネクタ　：日本圧着端子製造（株）

3．信号入出力用コネクタ（ＤＣ５Ｖ専用，ＣＮ１）

○；接続　　×；なし

PIN No	信　　号	ﾊﾟﾗﾚﾙ	ｼﾘｱﾙ	PIN No	信　　号	ﾊﾟﾗﾚﾙ	ｼﾘｱﾙ
１	ＧＮＤ	○	○	２	$\overline{\text{ＳＴＲＢ}}$	○	×
３	$\overline{\text{ＥＲＲＯＲ}}$	○	○	４	ＤＡＴＡ ０	○	×
５	Ｐ．Ｅ．	○	○	６	ＤＡＴＡ １	○	×
７	$\overline{\text{ＩＮＩＴＩＡＬ}}$	○	○	８	ＤＡＴＡ ２	○	×
９	ＤＴＲ	×	○	１０	ＤＡＴＡ ３	○	×
１１	ＲＴＳ	×	○	１２	ＤＡＴＡ ４	○	×
１３	ＲＸＤ	×	○	１４	ＤＡＴＡ ５	○	×
１５	＋５Ｖ　　注３	○	○	１６	ＤＡＴＡ ６	○	×
１７	＋５Ｖ　　注３	○	○	１８	ＤＡＴＡ ７	○	×
１９	＋５Ｖ　　注３	○	○	２０	$\overline{\text{ＡＣＫ}}$	○	×
２１	ＧＮＤ	○	○	２２	ＢＵＳＹ	○	×
２３	ＧＮＤ	○	○	２４	ＧＮＤ	○	○
２５	ＧＮＤ	○	○	２６			

プリンタ側：ＸＧ４Ａ－２６３４　　（オムロン（株））
ケーブル側：ＸＧ４Ｍ－２６３０－Ｔ（オムロン（株））



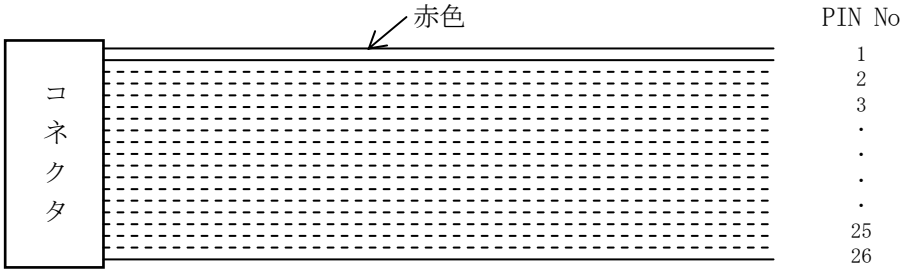
（注 1）未記入部には何も接続しないでください。
（注 2）信号ラインを長くすると、ノイズの影響を受け易くなりますので出来るだけ付属の専用ケーブルで短く配線してください。
（注 3）当プリンタの駆動用電源の供給端子です。

4．信号入出力用コネクタ（電源付の場合，ＣＮ２）

○；接続　　×；なし

PIN No	信　　号	ﾊﾟﾗﾚﾙ	ｼﾘｱﾙ	PIN No	信　　号	ﾊﾟﾗﾚﾙ	ｼﾘｱﾙ
１	ＧＮＤ　　注６	○	○	２	$\overline{\text{ＳＴＲＢ}}$	○	×
３	$\overline{\text{ＥＲＲＯＲ}}$	○	○	４	ＤＡＴＡ ０	○	×
５	Ｐ．Ｅ．	○	○	６	ＤＡＴＡ １	○	×
７	$\overline{\text{ＩＮＩＴＩＡＬ}}$	○	○	８	ＤＡＴＡ ２	○	×
９	ＤＴＲ	×	○	１０	ＤＡＴＡ ３	○	×
１１	ＲＴＳ	×	○	１２	ＤＡＴＡ ４	○	×
１３	ＲＸＤ	×	○	１４	ＤＡＴＡ ５	○	×
１５	注４			１６	ＤＡＴＡ ６	○	×
１７	注４			１８	ＤＡＴＡ ７	○	×
１９	注４			２０	$\overline{\text{ＡＣＫ}}$　　注３	○	×
２１	ＧＮＤ　　注５	○	○	２２	ＢＵＳＹ	○	×
２３	ＧＮＤ　　注５	○	○	２４	ＧＮＤ　　注５	○	○
２５	ＧＮＤ　　注５	○	○	２６			

プリンタ側：ＸＧ４Ａ－２６３４　　（オムロン（株））
ケーブル側：ＸＧ４Ｍ－２６３０－Ｔ（オムロン（株））

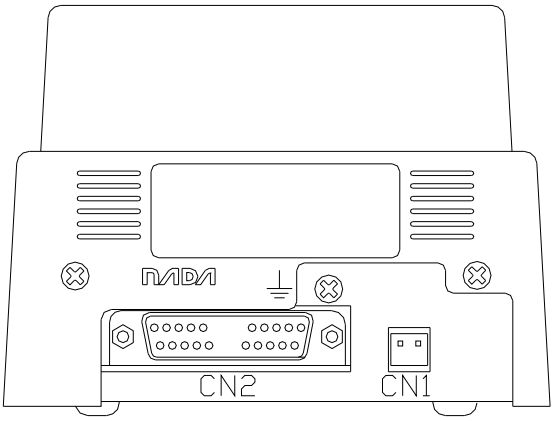


(注 1) 未記入部には何も接続しないで下さい。
(注 2) 信号ラインを長くすると、ノイズの影響を受け易くなりますので出来るだけ付属の専用ケーブルで短く配線して下さい。
(注 3) アイソレート仕様の場合には使用できませんので、オープンの状態として下さい
(注 4) アイソレート仕様の場合にはアイソレート電源の(+)側入力（ＩＶＣＣ）となります。
アイソレート仕様でない場合にはオープンの状態として下さい。
(注 5) アイソレート仕様の場合にはアイソレート電源の(-)側入力（ＩＧＮＤ）となります。
(注 6) アイソレート仕様の場合はＧＮＤ　ＳＥＬＥＣＴスイッチが電源ボックスに設けられます。
ＧＮＤ　ＳＥＬＥＣＴスイッチにて内部のロジックＧＮＤ（Ｌ－ＧＮＤ）とアイソレートＧＮＤ（Ｉ-ＧＮＤ）が選択できます。
アイソレート仕様でシリアル通信を使用する時はＬ－ＧＮＤ側で使用して下さい。

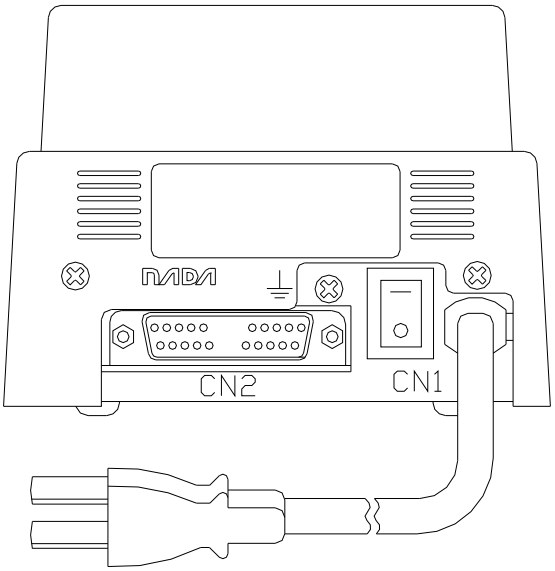
□　コネクタ表（ＴＰＴの場合）

１．コネクタ配置図

ＤＣ電源



ＡＣ電源



ＣＮ１：電源供給用

ＣＮ２：信号入出力用

ＣＮ１、ＣＮ２の表示はプリンタ本体には明示されていませんので当図を参照して配線してください。

２．電源供給用コネクタ（ＣＮ１）

PIN No．	ＤＣ電源
1	＋Ｖ
2	ＧＮＤ
プリンタ側コネクタ	Ｂ２Ｐ－ＶＨ
ケーブル側コネクタ	ＶＨＲ－２Ｎ

コネクタ　：日本圧着端子製造（株）

ＤＣ電源の場合、指定電圧の（＋）側を１に、
（－）側を２のＧＮＤへ接続します。
ＡＣ１００Ｖ仕様はプラグ付電源コードを使用します。

ＤＣ電源で使用される場合、電源ラインを長くすると電圧降下により印字ムラ等が発生しますので、できるだけ付属の専用ケーブルで短く配線してください。
専用ケーブルを使用しない場合には必ず０．５㎟以上の電線を使用してください。

3．信号入出力用コネクタ（ＣＮ２）

○；接続　　×；なし

PIN No	信　　号	ﾊﾟﾗﾚﾙ	ｼﾘｱﾙ	PIN No	信　　号	ﾊﾟﾗﾚﾙ	ｼﾘｱﾙ
１	$\overline{\text{ＳＴＲＢ}}$	○	×	１４	$\overline{\text{ＥＲＲＯＲ}}$	○	○
２	ＤＡＴＡ ０	○	×	１５			
３	ＤＡＴＡ １	○	×	１６	ＤＴＲ	×	○
４	ＤＡＴＡ ２	○	×	１７	ＲＴＳ	×	○
５	ＤＡＴＡ ３	○	×	１８	ＲＸＤ	×	○
６	ＤＡＴＡ ４	○	×	１９			
７	ＤＡＴＡ ５	○	×	２０			
８	ＤＡＴＡ ６	○	×	２１			
９	ＤＡＴＡ ７	○	×	２２	ＧＮＤ	○	○
１０	$\overline{\text{ＡＣＫ}}$	○	×	２３	ＧＮＤ	○	○
１１	ＢＵＳＹ	○	×	２４	ＧＮＤ	○	○
１２	Ｐ．Ｅ．	○	○	２５	ＧＮＤ	○	○
１３	$\overline{\text{ＩＮＩＴＩＡＬ}}$	○	○				

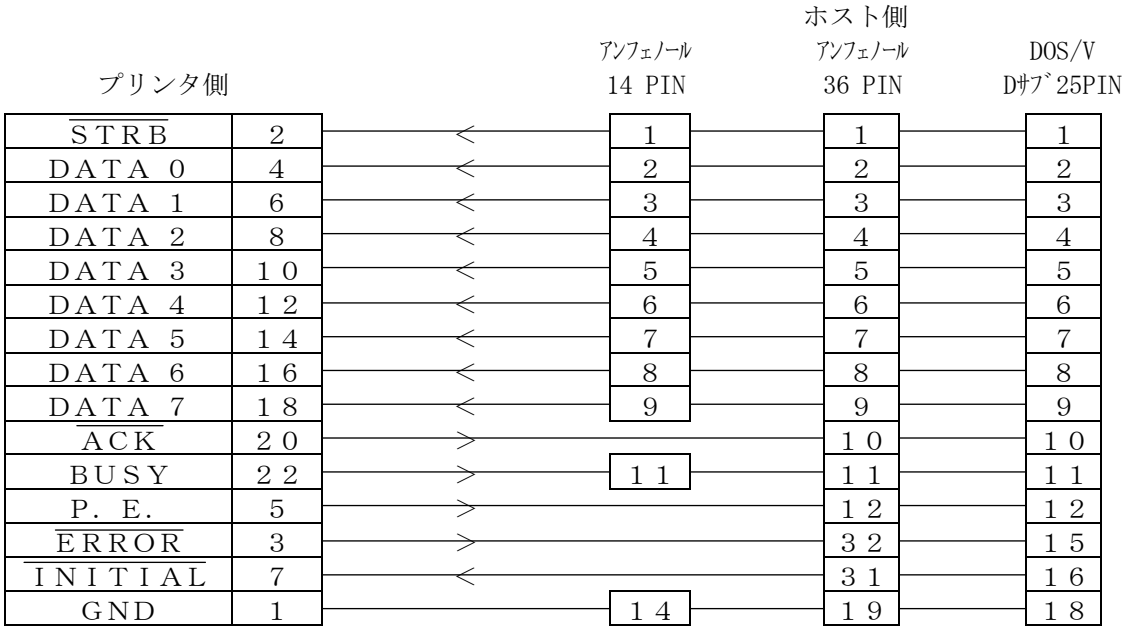
プリンタ側：ＸＭ３Ｂ－２５２２　（オムロン㈱）
ケーブル側：ＸＭ３Ａ－２５２１　（オムロン㈱）

（注 1）未記入部には何も接続しないでください。
（注 2）信号ラインを長くすると、ノイズの影響を受け易くなりますので出来るだけ短く配線してください。

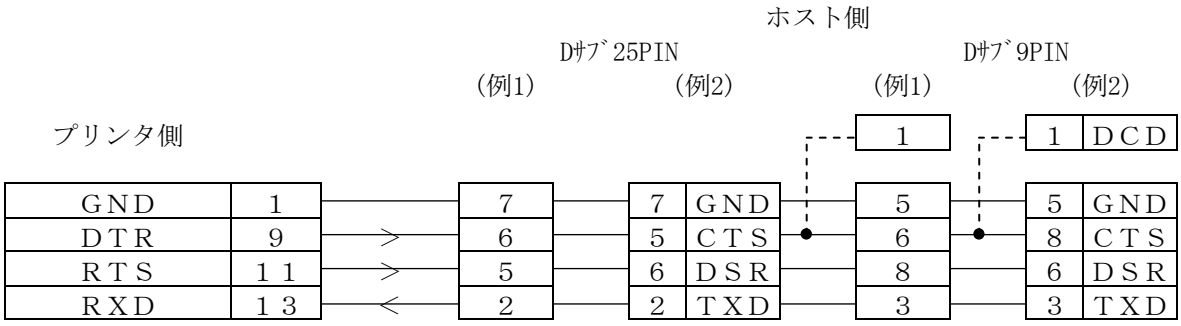
□ 結線

１．ＴＰタイプ

1）パラレルにて使用時



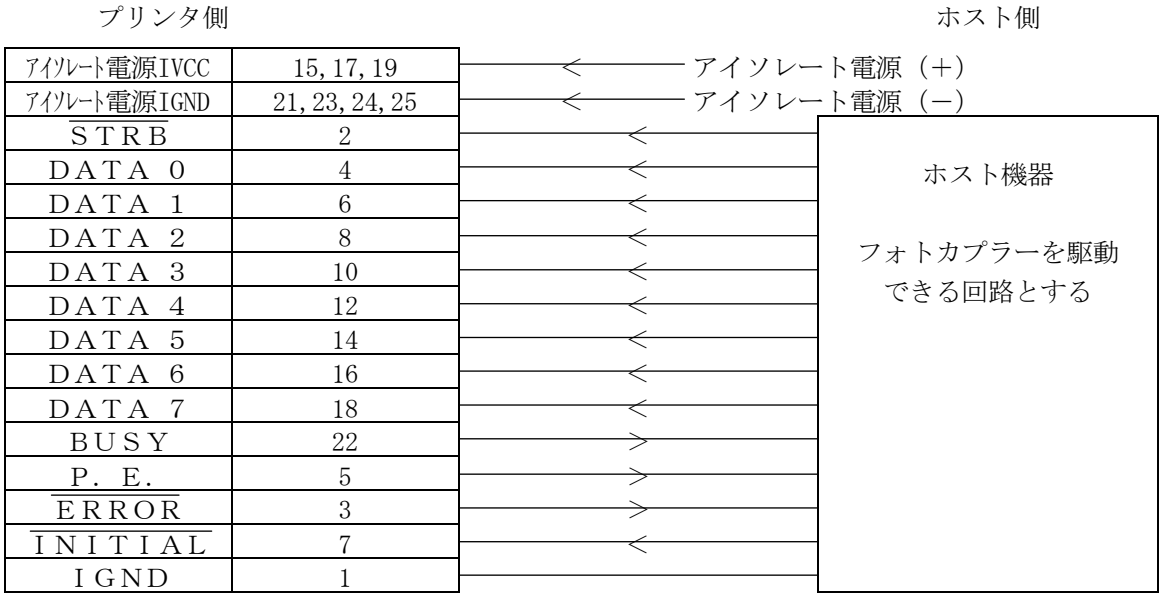
2）シリアルにて使用時



プリンタからのＤＴＲとＲＴＳをホスト側のＤＳＲ、ＣＴＳに接続する部分が異なります。
ホスト側の信号でオープン（未接続）でも動作可能の機種もありますが、上記以外の信号で処理しなければならないものがあれば処理を行って下さい。
Ｐ．Ｅ．や ERROR 等の信号は他のＩ／０ポートで確認します。

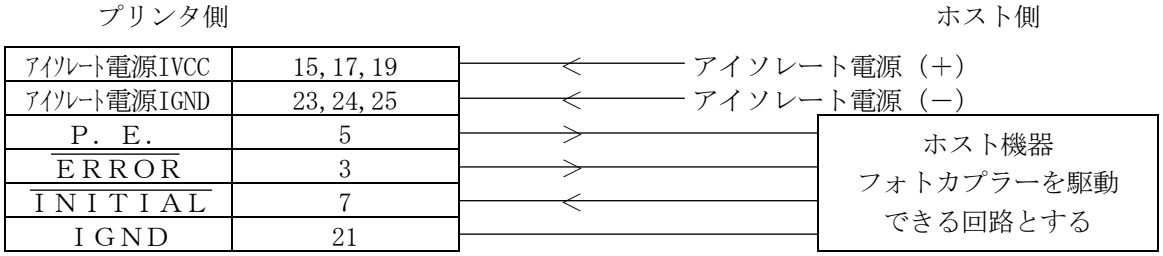
２．ＴＰタイプ　アイソレート仕様にて使用

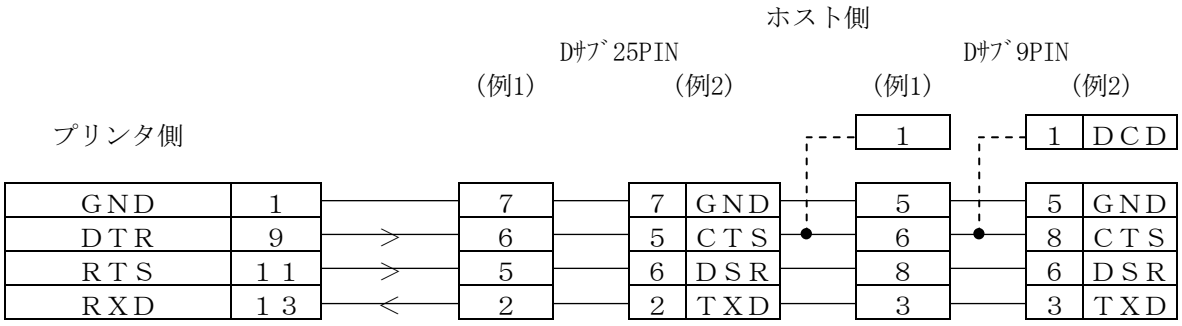
1）パラレルにて使用時



ＧＮＤ　ＳＥＬＥＣＴスイッチはＩ－ＧＮＤ側とする

2）シリアルにて使用時

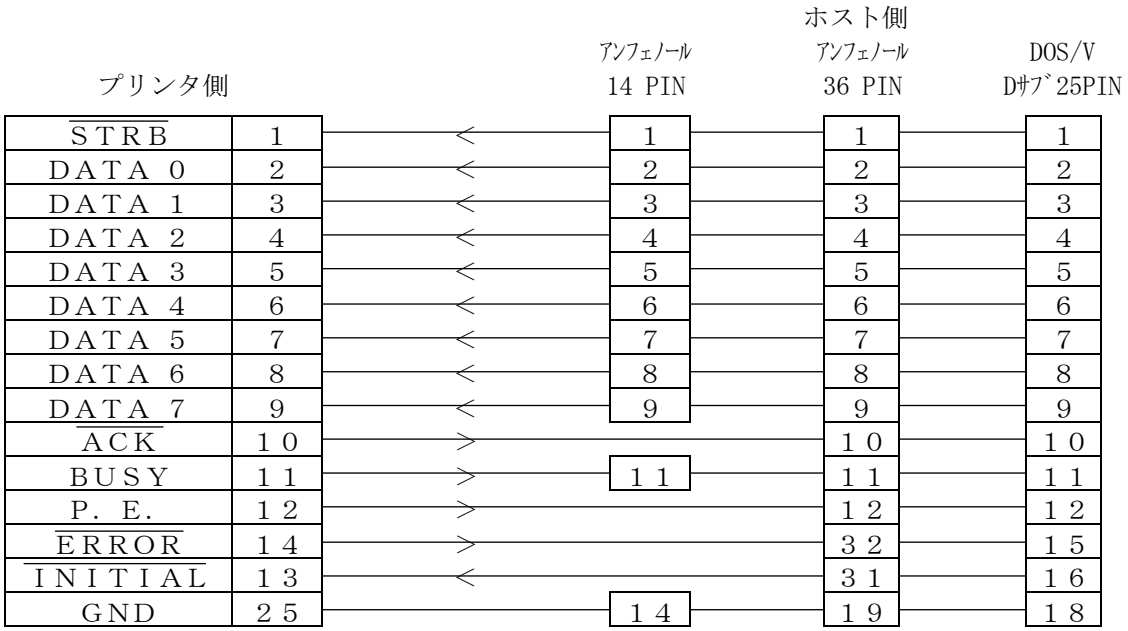




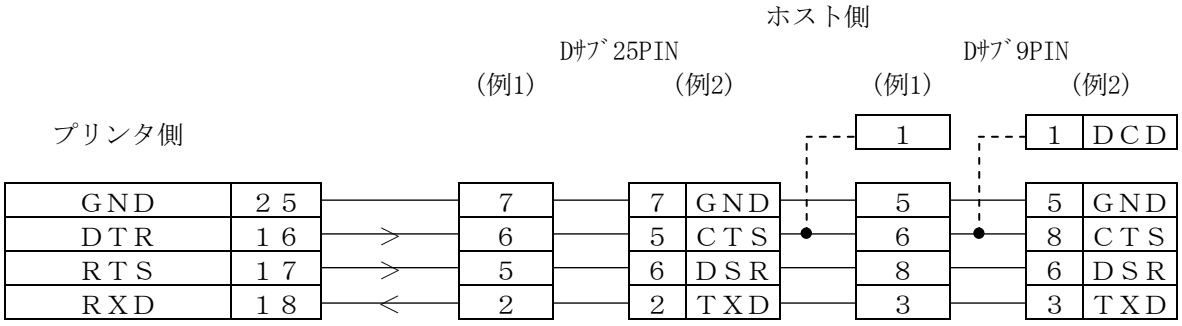
プリンタからのＤＴＲとＲＴＳをホスト側のＤＳＲ、ＣＴＳに接続する部分が異なります。
ホスト側の信号でオープン（未接続）でも動作可能の機種も有りますが、上記以外の信号で処理しなければならないものがあれば処理を行ってください。
ＩＮＩＴＩＡＬ信号を使用しない場合は、アイソレート電源は必要ありません。
ＧＮＤ　ＳＥＬＥＣＴ　スイッチは必ずＬ-ＧＮＤ側にして下さい。

３．ＴＰＴタイプ

1）パラレルにて使用時

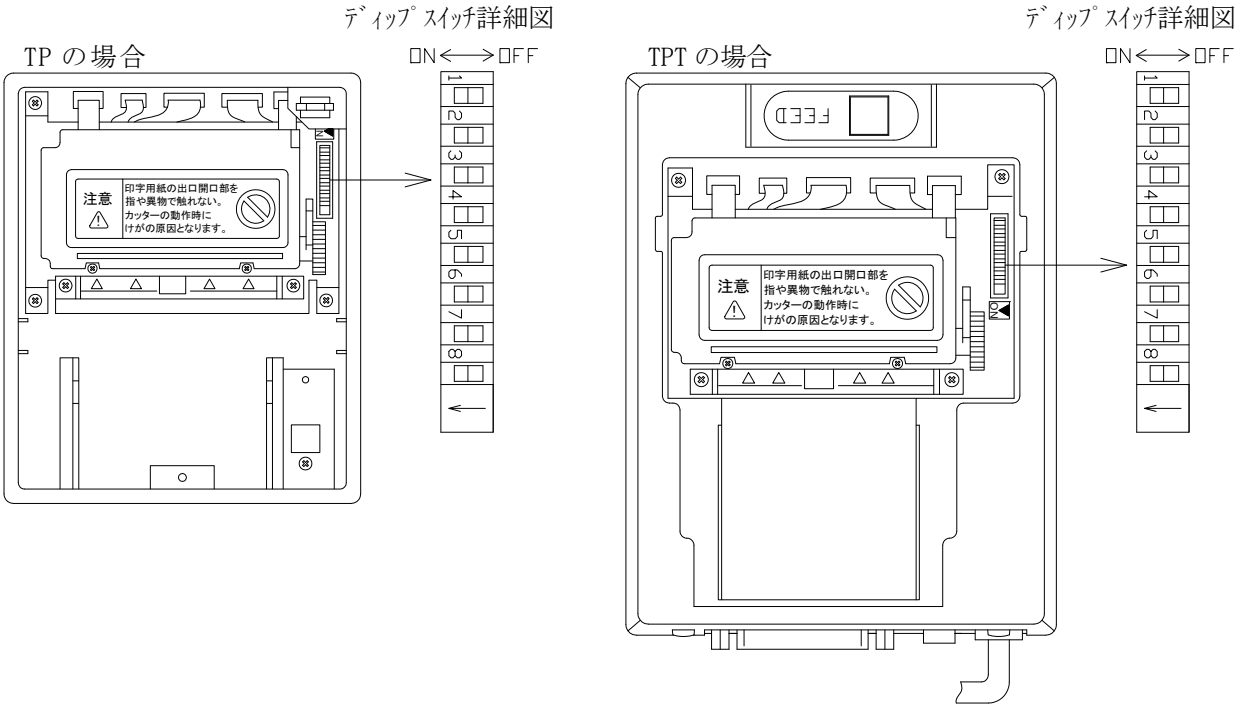


2）シリアルにて使用時



プリンタからのＤＴＲとＲＴＳをホスト側のＤＳＲ、ＣＴＳに接続する部分が異なります。
ホスト側の信号でオープン（未接続）でも動作可能の機種もありますが、上記以外の信号で処理しなければならないものがあれば処理を行って下さい。
Ｐ．Ｅ．や ERROR 等の信号は他のＩ／０ポートで確認します。

□　ディップスイッチの設定



ディップスイッチの位置は、１９０２Ｅ，１９０２ＥＣとも同じです。
（図は１９０２ＥＣです）

番号	機　　能	Ｏ　Ｎ	ＯＦＦ
1	ｲﾝﾀｰﾌｪｰｽ	ﾊﾟﾗﾚﾙ	ｼﾘｱﾙ
2	ﾃﾞｰﾀﾋﾞｯﾄ長	7ﾋﾞｯﾄ	8ﾋﾞｯﾄ
3	ﾊﾟﾘﾃｨ指定	ﾊﾟﾘﾃｨ無し	ﾊﾟﾘﾃｨ有り
4	ﾊﾟﾘﾃｨ選択	偶数ﾊﾟﾘﾃｨ	奇数ﾊﾟﾘﾃｨ
5	ﾎﾞｰﾚｰﾄ	右表参照	
6			
7			
8	ｶｯﾀの有無	有り	無し

5	6	7	ﾎﾞｰﾚｰﾄ(bps)
ON	ON	ON	1200
OFF	ON	ON	2400
ON	OFF	ON	4800
OFF	OFF	ON	9600
ON	ON	OFF	9600
OFF	ON	OFF	9600
ON	OFF	OFF	9600
OFF	OFF	OFF	9600

（注 1）出荷時の設定
　　ＳＷ１～７　ＯＦＦ
　　ＳＷ８　　カッタ無しの場合 ＯＦＦ
　　カッタ有りの場合 ＯＮ
（注 2）設定を変更する場合は、電源の再投入が必要です。
（注 3）スイッチの操作はピンセット等を使用してください。
（注 4）スイッチの設定は必ず電源を切った状態で行ってください。

□　機能説明

１．インターフェース

パラレル側を選択すると、セントロニクス準拠の仕様となります。
シリアル側を選択すると、ＲＳ－２３２Ｃ準拠の仕様となり、通信プロトコルとボーレートの設定が必要となります。

２．データビット長、パリティチェック、パリティ指定

インターフェースがシリアル時に使用します。
通信方法を決めるものでホスト側と合わせる必要があります。
ストップビットは１ビット以上となります。
ホスト側のストップビットは１ビット以上であれば受信可能です。

３．ボーレート

インターフェースがシリアル時に使用します。
通信速度を決めるものでホスト側と合わせる必要があります。

４．カッタの有無

カッタを使用するか否かを指定します。
カッタ無しのＴＰ／ＴＰＴ－１９０２Ｅでは　ＯＦＦ
カッタ付のＴＰ／ＴＰＴ－１９０２ＥＣでは　ＯＮ　にします。

□　テスト印字

ＦＥＥＤスイッチを押しながら 電源を投入 又は $\overline{\text{ＩＮＩＴＩＡＬ}}$信号入力を行うと、キャラクタセット内のデータをアドレス順に印字（セルフテスト）します。

押し続けている間はセルフテストを行い、押すのを止めるとその時 印字している行を印字し終えてから、データ受付状態になります。

テスト印字を行う場合は必ず記録紙をセットして下さい。

□　印字中のペーパーエンドについて

印字中にペーパーエンドになった場合は、新しい記録紙をセットして下さい。

記録紙はオートローディング機能によりＦＥＥＤスイッチの操作なしにセットできます。

オートローディング時は必ずヘッドアップレバーを手前に引いて印字ヘッドをプラテンローラより離して下さい。

新しい記録紙をセット後に必ずヘッドアップレバーを元の位置に戻して下さい。

□　エラー信号

以下にホストシステムに対して発行するエラー内容とその解除方法を示します。

１．プリンタ温度エラー

1)内容　サーマルヘッド基板の温度が６５℃以上になった場合、プリンタの動作を一時的に停止させます。（現在印字している行を印字した後で停止します。）

2)解除方法

６０℃以下になると自動的にプリンタの動作を再開します。

２．断線

1)内容　ヘッド温度監視用サーミスタが断線した場合にプリンタを停止させます。

ＦＥＥＤスイッチのＬＥＤが０．１ｓ周期で点滅します。

2)解除方法

印字ヘッドの交換 または 印字メカニズムの交換が必要になります。

３．ペーパーエンド

1)内容　用紙が無くなった場合、プリンタの動作を一時的に停止させます。

（現在印字している行を印字した後で停止します。*）

2)解除方法

用紙をセットすれば 自動的にプリンタの動作を継続します。

（印字中にペーパーエンドを検出した場合は、その時印字していた行を再度印字します。）

４．ヘッドアップ（リリースレバーのアップ）

1)内容　ヘッドがアップした場合、プリンタの動作を一時的に停止させます。

（現在印字している行を印字した後で停止します。*）

2)解除方法

ヘッドをダウンすれば 自動的にプリンタの動作を継続します。

（印字中にヘッドアップした場合は、その時印字していた行を再度印字します。）

５．カッタエラー（ＴＰ－１９０２ＥＣのみ）

1)内容　カッタ駆動後、規定の時間が経過してもカッタ刃がホームポジション内に戻らない場合にプリンタを停止させます。

ＦＥＥＤスイッチのＬＥＤが０．１ｓ周期で点滅します。

2)解除方法

ハードウェアリセットのみ解除可能です。

エラーの原因となった紙ジャムなどの障害を取り除いた後、電源を再投入するか、

$\overline{\text{ＩＮＩＴＩＡＬ}}$信号を入力して下さい。

６．シリアルデータ受信エラー

1)内容　本コントロールチップは、シリアルデータ受信時に１バイト受信毎に正しく受信できたかどうかチェックします。

受信エラーが発生した場合は、受信したコードの代わりに下記のメッセージを入力バッファに格納して 印字します。

オーバーラン・エラー　：ＯＥ？

フレミング・エラー　：ＦＥ？

パリティ・エラー　：ＰＥ？

2)解除方法

ハードウェアリセットのみ解除可能です。

プロトコル・通信速度を確認し、電源を再投入するか、$\overline{\text{ＩＮＩＴＩＡＬ}}$信号を入力して下さい。

通信線が外乱ノイズの影響を受けている場合は、シールド線を使用する等の対策を行って下さい。

＊：ビットイメージやスタンプデータなどのイメージデータ印字時は、次のドットライン印字後に停止させます。

□　印字スピードと印字分割について

当プリンタは、下記の２種類のサーマルヘッドの印字分割方法を備えています。

１．固定分割駆動

印字パターンの内容にかかわらず、常にサーマルヘッドの分割を一定にして印字する駆動方法。
サーマルヘッドの分割が一定であるため、プリンタの印字速度は常に一定になります。分割数は、コマンドにより選択可能です。

２．動的分割駆動

印字パターンの内容によって、サーマルヘッドの分割数を可変して印字する方法。
サーマルヘッドの分割数が変化するため、プリンタの印字速度も１ドットラインごとに変化する場合があります。
この駆動方法は、同時に印字を許可するドット数が１４４ドット以下になるようにサーマルヘッドを分割するため、定電流制御に近いものになります。

分割駆動モードの選択（固定／動的）、固定分割数の選択は下記コマンドで設定できます。
詳細は、各コマンド仕様を参照して下さい。

・分割駆動モード選択コマンド　：ＤＣ２ ＋ “D”
・固定分割数設定コマンド　　：ＤＣ２ ＋ “F”

□　電源付仕様での固定印字分割制御について

電源付（ＤＣ２４Ｖ、ＡＣ１００Ｖ仕様，アイソレート仕様）で印字分割指定コードを使用する場合、次の点を注意して下さい。
印字率２５％程度の通常の文章では、印字分割を２として使用していただけますが、内蔵している電源容量の関係で印字率５０％を越える場合には、印字分割を４以上として使用して下さい。
印字分割をしないままで５０％を越える印字率で使用すると､イニシャライズ動作をする場合があります。
ここで印字率５０％とは、印字ヘッドが横１列に５７６ドットありますからその 1/2 の２８８ドット以上を使用する時のことを指します。
具体的には、‘一’の文字を１行の半分以上印字させる。あるいは、ビットイメージで黒のベタ印字をさせる様な時のことです。

□　間欠印字について

印字、停止を繰り返し行う間欠印字の場合、ギヤのバックラッシュやゴムローラーの弾性の為モーターの再起動時に印字がつながらず、印字がつぶれたり、白く線が入る場合があります。
これを防ぐため印字は出来るだけ連続して行い、間欠印字を避けて下さい。
間欠印字の場合には次の印字開始時に紙送りコードを最初に入力して下さい。

□　カット動作と印字位置について

記録紙の特性、ロール紙の使用による巻き癖、長い印字間隔等によって ごく稀に発生する紙詰まりを防止するため、カット後は記録紙先端をカッタ刃より前方へ２㎜ 以上送って下さい。
カット時の記録紙先端から印字位置までは、約７㎜ です。
記録紙のカット長さは、１０㎜ 以上として下さい。
カットは、サーキュラーカッタ方式のパーシャルカット（切り残し量 約２㎜）です。
切断頻度は、３０カット／分 以内として下さい。

□　バッファフル印字について

入力した印字データをプリントアウトするのには通常印字改行コード（$0D_H$，$0A_H$）を入力しますが、当プリンタにはバッファフル印字機能があります。

これは、印字バッファに印字データが１行分入力されると自動的に印字するもので、印字改行コードを必要としていないものです。

文字間スペース０ドットにおいてＡＮＫ文字データを３６文字分入力すると印字バッファが一杯になりますが、これを印字させるには、印字改行コードを入力するか、３７，３８文字目のデータを入力します。（３８文字目が入力されると印字を開始し、３７、３８文字目は次の行のデータとして記憶されます。）

□　内蔵メモリについて

本プリンタでは、３２Ｋバイトの内蔵メモリを制御する機能があります。

ダウンロード文字や外字，スタンプなどのユーザオリジナルのデータを登録して印字する機能に使用します。ユーザの使用可能領域は最大３１，４８８（約３１Ｋ）バイトです。

１．ユーザデータの登録機能

内蔵文字セットとは別にユーザオリジナルデータが登録出来ます。

詳細は □ 制御コード解説 を参照して下さい。

1)ダウンロード文字

ユーザが定義出来る文字フォントです。内蔵文字セットに代わって印字する事が出来ます。

20_H～FE_H（$7F_H$を除く）の文字コードに登録が可能で、１バイトコードで呼び出せます。

フォントサイズは１（Ｈ）×８（Ｗ）ドット～１２８×１２８ドットの範囲で任意に設定が可能です。

2)外字

ユーザが定義出来る文字フォントです。漢字ＲＯＭに代わって印字する事が出来ます。

7721_H～$777E_H$の文字コードに登録が可能で、２バイトコードで呼び出せます。

フォントサイズは フォントサイズ選択コマンド（ＤＣ２＋Ｓ）で選択されたサイズで登録，呼び出しされます。

・２４×２４ドットフォントサイズ選択時 ： ２４×２４ドット

・１６×１６ドットフォントサイズ選択時 ： １６×１６ドット

3)スタンプ

ユーザが定義出来る任意の矩形範囲のビットイメージです。一旦登録すれば、リセット もしくは消去しない限りスタンプ番号の呼び出しだけで何回でも印字が可能です。

データサイズは最大横７２バイト×縦２５５ドットラインまでで、スタンプ登録可能最大数は２５６個です。

ＴＰ／ＴＰＴ－１９０２／Ｃの機能ですが当プリンタでは使用できません。

4)マクロ処理

一連のコマンドや文字コードを予め登録する事により 定型の文章や文字列などをマクロ処理番号の呼び出しだけで繰り返し印字する事が出来ます。

コマンドや文字コードのデータ列の登録可能最大数は １つのマクロ当たり２５６バイトです。

又、マクロ処理の登録可能最大数は ２５６個です。

ＴＰ／ＴＰＴ－１９０２／Ｃの機能ですが当プリンタでは使用できません。

２．メモリ領域操作コマンド

１項で説明した各機能を実行する為には、メモリ領域設定コマンド（ＤＣ２＋Ｍ）により 各機能に必要なメモリ容量を確保して下さい。

領域が確保されていない場合、内蔵メモリの機能を使用するコマンドは無視されます。

詳細は □ 制御コード解説 を参照して下さい。

□　アイソレート仕様でのデータ転送について

１．パラレルでの使用

アイソレート仕様の場合には$\overline{\text{ＡＣＫ}}$出力がありませんので、データ転送は必ずＢＵＳＹ出力が“ＬＯＷ”レベルである事を確認して転送してください。また、フォトカプラーを通じて入出力を行いますので、タイミングには充分な余裕をもって行って下さい。

また印字を行わない待機時には、フォトカプラーの制限抵抗による発熱を低くする為、フォトカプラーに電流を流さない状態にして下さい。

２．シリアルでの使用

ＧＮＤ　ＳＥＬＥＣＴスイッチは、Ｌ－ＧＮＤ側にして下さい。

シリアル通信時のＧＮＤは内部のロジックＧＮＤです。

ＲＳ－２３２Ｃの回路そのものは絶縁されておりませんので注意して下さい。

□　紙送り許容差について

プリンタ単体での紙送り許容差（同一プリンタで同じフォーマットでの印字を行った時の長さの違い）、プリンタ固体間の紙送り許容差（他のプリンタとの同じフォーマットでの印字を行った時の長さの違い）は、±２％となっています。

□　動作しない時について

１．全般

1)電源を入れても全く動作しない

①配線（電源関係）の確認。

②電源電圧の確認。

③$\overline{\text{ＩＮＩＴＩＡＬ}}$信号を使用している場合には信号レベルの確認

2)印字動作中にリセットが働く（イニシャル動作を行う）

①電源容量の確認。

②電源電圧の確認。

③電源付の一部の製品には、印字制限があるものがあります。確認して下さい。

3)スイッチによる紙送りはするが印字しない

①記録紙の確認。（サーマル用紙の裏表）

②サーマル方式のプリンタではヘッドアップレバーを確認。

③パラレル仕様では$\overline{\text{ＳＴＲＢ}}$信号の確認。

④シリアル仕様では通信プロトコル、データ転送速度が合っているかを確認。

4)記録紙の交換後に印字しない

①記録紙の交換後に ＦＥＥＤ スイッチ を操作する事で、交換終了としている製品があります。
ＦＥＥＤスイッチを操作してみて下さい。

２．印字内容に関して

1)文字が抜ける

①パラレル仕様では、ＢＵＳＹ信号を確認して転送しているかを確認。

②シリアル仕様では、ＤＴＲ信号を確認して転送しているかを確認。
また、ＤＴＲを確認するタイミングに誤りがないかを確認。

③シリアル仕様では、ＤＴＲ信号の配線を確認。

2)文字が化ける（印字内容が転送データと異なる）

①パラレル仕様では、ＤＡＴＡ０－７ の配線を確認。

②シリアル仕様では、通信プロトコル、データ転送速度が合っているかを確認。

3)同じ文字を２～３度印字する

①パラレル仕様では、$\overline{\text{ＳＴＲＢ}}$信号が同一データに対して複数回入力していないかを確認。

4)印字が薄い

①インクリボンを使用するプリンタでは、インクリボンを交換する

②電源電圧、電源容量を確認。

③サーマル方式では、記録紙のメーカにより、印字濃度に差が出る場合があります。

□　ＴＰ／ＴＰＴ－１９０２／Ｃとの互換性について

ＴＰ／ＴＰＴ－１９０２Ｅ／Ｃは、ＴＰ／ＴＰＴ－１９０２／Ｃの互換機として開発されましたが、一部の機能が使用できないものがあります。（漢字フォントサイズ１６×１６ドットが使用できない等）
当プリンタをご使用の際は、十分な動作確認を行って下さい。

１．仕様

内　　容	TP/TPT-1902/C	TP/TPT-1902E/C
待機時電流　　注１	DC5V　　60mA DC 24V　　42mA AC100V　　36mA	DC5V　　150mA DC24V　　60mA AC100V　　40mA
ピーク電流　　注２	DC5V　　2.8A	DC5V　　2.9A
漢字サイズ	24×24 ドット 16×16 ドット	24×24 ドット ――――――
電圧エラー検出	検出機能あり	検出機能なし
サーミスタ断線検出	検出機能なし	検出機能あり
サーマルヘッド温度 エラー範囲	高温＋70℃以上 低温－10℃以下	高温＋65℃以上

注１　待機時とはプリンタ単体での記録紙がセットされている状態です。
注２　テスト印字における電流値です。
　　黒ベタ印字等ではこの値より大きくなります。

２．制御コード

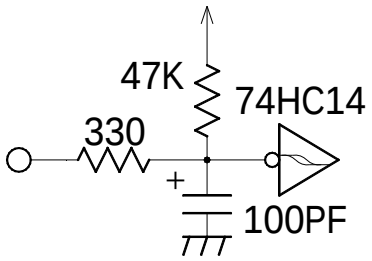
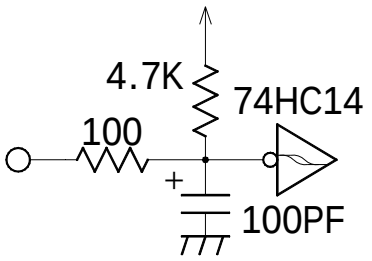
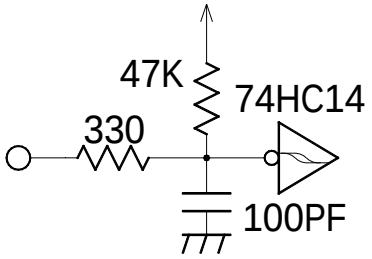
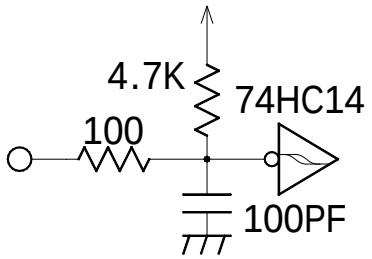
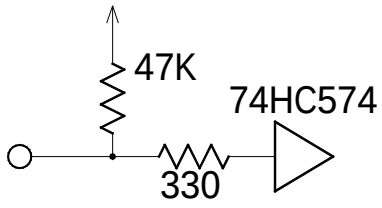
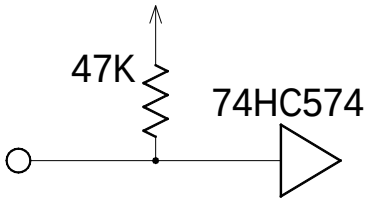
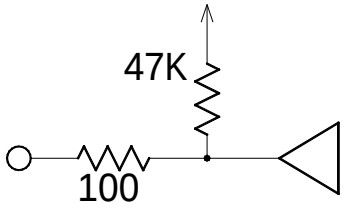
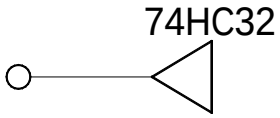
1)無視されるＴＰ／ＴＰＴ－１９０２／Ｃの制御コード

制御コード	名　　称
ＤＣ３	スリープモード設定
ＥＳＣ　ｊ	印字後、指定量の逆方向紙送り
ＥＳＣ　ｏ	スタンプ印字（１）
ＥＳＣ　ｓ	スタンプ印字（２）
ＤＣ２　Ｗ	重ね合わせモード選択
ＤＣ２　ｏ	スタンプ登録
ＤＣ２　ｐ	スタンプ設定
ＤＣ２　ｑ	スタンプ消去
ＧＳ　：	マクロ処理定義の開始/終了
ＧＳ　^	マクロ処理の実行
ＧＳ　｜	マクロ処理の消去

2)制限があるＴＰ／ＴＰＴ－１９０２／Ｃの制御コード

制御コード	名　　称	１９０２	１９０２Ｅ
ＤＣ２　Ｓ	フォントサイズ選択	24, 16 ドット	24 ドットのみ
ＧＳ　ｋ	バーコード種類選択/印字	6 種類	5 種類 UPC-E の使用不可

３．入出力回路構成

名　　称	ＴＰ／ＴＰＴ－１９０２／Ｃ	ＴＰ／ＴＰＴ－１９０２Ｅ／Ｃ
$\overline{\text{INITIAL}}$		
$\overline{\text{STRB}}$		
DATA0 ｜ DATA7		
BUSY $\overline{\text{ERROR}}$ $\overline{\text{ACK}}$		

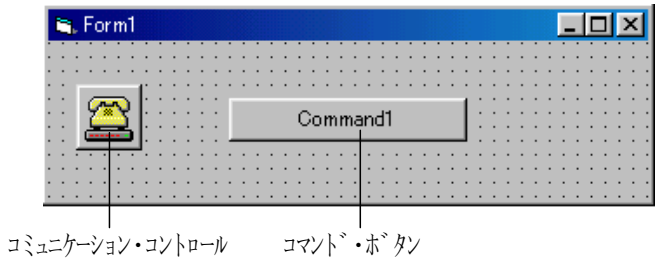
□ Visual Basic (Ver 5.0／6.0) による印字サンプルプログラム

次のﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑは､"プリンタ"という漢字を１行と"NADA PRINTER"という ANK 文字列を１行印字します。
このﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑを実行するには、まずｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝｺﾝﾄﾛｰﾙとｺﾏﾝﾄﾞﾎﾞﾀﾝを含むﾌｫｰﾑﾓｼﾞｭｰﾙのｺｰﾄﾞｴﾃﾞｨﾀｳｨﾝﾄﾞｳに下のｺｰﾄﾞを記述します。次に、F5 ｷｰを押して実行し、ｺﾏﾝﾄﾞﾎﾞﾀﾝをｸﾘｯｸします。

```
Private CanselSend As Boolean                          '[ESC]ｷｰで送信中止
Private Sub Command1_Click()
    Dim i As Integer, j As Integer                     'For 文ｶｳﾝﾀ
    Dim sendData As String                             '送信ﾃﾞｰﾀ

    MSComm1.Settings = "9600,n,8,1"                    'ﾎﾞｰﾚｰﾄ9600bps､ﾊﾟﾘﾃｨ無し､ﾃﾞｰﾀ長８ﾋﾞｯﾄ､ｽﾄｯﾌﾟﾋﾞｯﾄ１
    MSComm1.CommPort = 1                               'COM ﾎﾟｰﾄの１を使用します
    MSComm1.PortOpen = True                            'COM ﾎﾟｰﾄを開きます
    If (MSComm1.DSRHolding = False) Then               'ﾌﾟﾘﾝﾀの DTR 信号がｵﾌなら送信を中止します
        End
    End If
    sendData = Chr$(&H1B&) & Chr$(&H40&)               'ﾌﾟﾘﾝﾀの初期化
    sendData = sendData & Chr$(&H1C&) & Chr$(&H26&)    '漢字ﾓｰﾄﾞ指定
    sendData = sendData & Chr$(&H25&) & Chr$(&H57&) & Chr$(&H25&) & Chr$(&H6A&)
    sendData = sendData & Chr$(&H25&) & Chr$(&H73&) & Chr$(&H25&) & Chr$(&H3F&)
    sendData = sendData & Chr$(&HD&)                   '印字動作
    sendData = sendData & Chr$(&HA&)                   '１ﾗｲﾝ改行
    sendData = sendData & Chr$(&H1C&) & Chr$(&H2E&)    '漢字ﾓｰﾄﾞ解除
    sendData = sendData & "NADA PRINTER"
    sendData = sendData & Chr$(&HD&)                   '印字動作
    sendData = sendData & Chr$(&HA&)                   '１ﾗｲﾝ改行
    For i = 1 To Len(sendData)
        Do While MSComm1.OutBufferCount <> 0           '送信ﾊﾞｯﾌｧが空になるのを待ちます
            DoEvents
            If (CanselSend = True) Then                '[ESC]ｷｰで中止します
                Exit For
            End If
        Loop
        Do While MSComm1.DSRHolding = False            'ﾌﾟﾘﾝﾀの DTR 信号がｵﾝになるのを待ちます
            DoEvents
            If (CanselSend = True) Then                '[ESC]ｷｰで中止します
                Exit For
            End If
        Loop
        MSComm1.Output = Mid$(sendData, i, 1)          '１文字ずつ送信します
    Next i
    MSComm1.PortOpen = False                           'COM ﾎﾟｰﾄを閉じます
End Sub
Private Sub Form_KeyDown(KeyCode As Integer, Shift As Integer)
    If (KeyCode = vbKeyEscape) Then                    '[ESC]ｷｰを押す
        CanselSend = True
    End If
End Sub
Private Sub Form_Load()
    Form1.KeyPreview = True                            'ﾏｳｽよりもｷｰﾎﾞｰﾄﾞのｲﾍﾞﾝﾄの方を優先させます
End Sub
```

※ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ・ｺﾝﾄﾛｰﾙは､Visual Basic の[ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ(P)]ﾒﾆｭｰの[ｺﾝﾎﾟｰﾈﾝﾄ(O)]をｸﾘｯｸし、“ｺﾝﾄﾛｰﾙ”にある“Microsoft Comm Control”をﾁｪｯｸする事で使用できる様になります。



□　制御コード一覧

名　　称	機　　能	参照ページ
ＣＡＮ	データ抹消	Ⅱ－６
ＣＲ	印字改行	Ⅱ－６
ＤＣ３	スリープモード設定	Ⅱ－６
ＤＣ４	自動解除付き横倍幅拡大解除	Ⅱ－６
ＤＥＬ	１文字分削除	Ⅱ－６
ＬＦ	印字改行	Ⅱ－７
ＳＯ	自動解除付き横倍幅拡大指定	Ⅱ－７
ＥＳＣ　％	ダウンロード文字指定／解除	Ⅱ－７
ＥＳＣ　＆	ダウンロード文字定義	Ⅱ－８
ＥＳＣ　－	アンダーライン指定／解除	Ⅱ－９
ＥＳＣ　３	行間スペース指定	Ⅱ－９
ＥＳＣ　@	初期化	Ⅱ－９
ＥＳＣ　Ａ	行間スペース設定	Ⅱ－９
ＥＳＣ　Ｉ	白黒反転	Ⅱ－１０
ＥＳＣ　Ｊ	印字後、指定量の順方向紙送り	Ⅱ－１０
ＥＳＣ　Ｋ	ビットイメージ指定	Ⅱ－１１
ＥＳＣ　Ｑ	右マージン設定	Ⅱ－１２
ＥＳＣ　Ｓ	スクリプト指定	Ⅱ－１２
ＥＳＣ　ＳＰ	文字間スペース設定	Ⅱ－１２
ＥＳＣ　Ｔ	スクリプト解除	Ⅱ－１３
ＥＳＣ　Ｗ	横倍幅拡大指定／解除	Ⅱ－１３
ＥＳＣ　ｉ	パーシャルカット　（注）	Ⅱ－１３
ＥＳＣ　ｊ	印字後、指定量の逆方向紙送り	Ⅱ－１３
ＥＳＣ　ｌ	左マージン設定	Ⅱ－１４
ＥＳＣ　ｍ	パーシャルカット　（注）	Ⅱ－１４

名　　称	機　　能	参照ページ
ＥＳＣ　o	スタンプ印字（1）	Ⅱ－１４
ＥＳＣ　s	スタンプ印字（2）	Ⅱ－１４
ＥＳＣ　w	縦倍拡大指定／解除	Ⅱ－１５
ＥＳＣ　{	倒立印字指定／解除	Ⅱ－１５
ＦＳ　　&	漢字モード指定	Ⅱ－１６
ＦＳ　　2	外字定義	Ⅱ－１６
ＦＳ　　ＤＣ２	１／４角文字解除	Ⅱ－１７
ＦＳ　　r	１／４角文字指定	Ⅱ－１７
ＦＳ　　.	漢字モード解除	Ⅱ－１７
ＤＣ２　A	オートローディング時の頭出し設定	Ⅱ－１７
ＤＣ２　D	分割駆動モード選択	Ⅱ－１８
ＤＣ２　F	固定分割数設定	Ⅱ－１９
ＤＣ２　M	メモリ領域操作	Ⅱ－１９
ＤＣ２　S	フォントサイズ選択	Ⅱ－２０
ＤＣ２　W	重ね合わせモード選択	Ⅱ－２０
ＤＣ２　o	スタンプ登録	Ⅱ－２１
ＤＣ２　p	スタンプ設定	Ⅱ－２２
ＤＣ２　q	スタンプ消去	Ⅱ－２２
ＧＳ　　E	ヘッド通電時間調整	Ⅱ－２２
ＧＳ　　H	ＨＲＩ文字位置選択	Ⅱ－２３
ＧＳ　　h	バーコードの高さ設定	Ⅱ－２３
ＧＳ　　k	バーコード種類選択／印字	Ⅱ－２４
ＧＳ　　w	バーコード横サイズ／倍率設定	Ⅱ－２５
ＧＳ　　:	マクロ処理定義の開始／終了	Ⅱ－２５
ＧＳ　　^	マクロ処理の実行	Ⅱ－２６
ＧＳ　　|	マクロ処理の消去	Ⅱ－２６

（注）オートカッタ装着時のみ使用可能

□　制御コード分類

項　　目	コマンド	機　　能	参照ﾍﾟｰｼﾞ
印字・紙送り	ＣＲ	印字，改行	Ⅱ－６
	ＬＦ	印字，改行	Ⅱ－７
	ＥＳＣ＋“Ｊ”	印字後、指定量の順方向紙送り	Ⅱ－１０
	ＥＳＣ＋“ｊ”	印字後、指定量の逆方向紙送り	Ⅱ－１３
書式設定	ＥＳＣ＋“Q”	右マージン設定	Ⅱ－１２
	ＥＳＣ＋“ｌ”	左マージン設定	Ⅱ－１４
	ＥＳＣ＋“３”	行間スペース設定	Ⅱ－９
	or ＥＳＣ＋“A”		Ⅱ－９
	ＥＳＣ＋“ＳＰ”	文字間スペース設定	Ⅱ－１２
文字セット	ＤＣ２＋“Ｓ”	フォントサイズ選択	Ⅱ－２０
	ＥＳＣ＋“Ｓ”	スーパー／サブスクリプト指定	Ⅱ－１２
	ＥＳＣ＋“Ｔ”	スーパー／サブスクリプト解除	Ⅱ－１３
	ＦＳ＋“&”	漢字モード指定	Ⅱ－１６
	ＦＳ＋“. ”	漢字モード解除	Ⅱ－１７
	ＦＳ＋“ｒ”	１／４角文字指定	Ⅱ－１７
	ＦＳ＋ＤＣ２	１／４角文字解除	Ⅱ－１７
装　　飾	ＳＯ	自動解除付き倍幅拡大指定	Ⅱ－７
	ＤＣ４	自動解除付き倍幅拡大解除	Ⅱ－６
	ＥＳＣ＋“W”	倍幅拡大指定／解除	Ⅱ－１３
	ＥＳＣ＋“w”	縦倍拡大指定／解除	Ⅱ－１５
	ＥＳＣ＋“－”	アンダーライン指定／解除	Ⅱ－９
	ＥＳＣ＋“Ｉ”	白黒反転	Ⅱ－１０
	ＥＳＣ＋“｛”	倒立印字指定／解除	Ⅱ－１５
	ＤＣ２＋“W”	重ね合わせモード設定	Ⅱ－２０
文字定義	ＥＳＣ＋“%”	ダウンロード文字指定／解除	Ⅱ－７
	ＥＳＣ＋“&”	ダウンロード文字定義	Ⅱ－８
	ＦＳ＋“２”	外字定義	Ⅱ－１６
イメージ処理	ＤＣ２＋“ｏ”	スタンプ登録	Ⅱ－２１
	ＥＳＣ＋“ｏ”	スタンプ印字（１）	Ⅱ－１４
	ＥＳＣ＋“ｓ”	スタンプ印字（２）	Ⅱ－１４
	ＤＣ２＋“ｐ”	スタンプ設定	Ⅱ－２２
	ＤＣ２＋“ｑ”	スタンプ消去	Ⅱ－２２
	ＥＳＣ＋“K”	ビットイメージ指定	Ⅱ－１１

項　　目	コマンド	機　　能	参照ﾍﾟｰｼﾞ
マクロ処理	ＧＳ＋“：”	マクロ処理定義の開始／終了	Ⅱ－２５
	ＧＳ＋“＾”	マクロ処理の実行	Ⅱ－２６
	ＧＳ＋“｜”	マクロ処理の消去	Ⅱ－２６
メカ制御	ＧＳ＋“E”	ヘッド通電時間調整	Ⅱ－２２
	ＤＣ２＋“D”	分割駆動モード選択	Ⅱ－１８
	ＤＣ２＋“F”	固定分割数設定	Ⅱ－１９
	ＤＣ２＋“A”	オートローディング後の頭出し量の調整	Ⅱ－１７
	ＥＳＣ＋“m”	パーシャルカット　（注）	Ⅱ－１４
	or ＥＳＣ＋“ｉ”		
バーコード印字	ＧＳ＋“H”	ＨＲＩ文字位置選択	Ⅱ－２３
	ＧＳ＋“h”	バーコードの高さ設定	Ⅱ－２３
	ＧＳ＋“k”	バーコード種類選択，印字	Ⅱ－２４
	ＧＳ＋“w”	バーコード横サイズ，倍率設定	Ⅱ－２５
補助機能	ＥＳＣ＋“@”	初期化	Ⅱ－９
	ＤＥＬ	１文字削除	Ⅱ－６
	ＣＡＮ	データ抹消	Ⅱ－６
	ＤＣ３	スリープモード設定	Ⅱ－６
	ＤＣ２＋“M”	メモリ領域操作	Ⅱ－１９

（注）オートカッタ装着時のみ使用可能

□　初期設定内容

パワーオンリセット，ハードウェアリセット 及び ＥＳＣ＋@コマンド入力による初期化処理後の各機能設定は以下のようになります。

コマンド名	パラメータ設定値	初　期　化　時　の　内　容
ＥＳＣ＋Ｊ	〈ｎ１〉〈ｎ２〉＝０	順方向紙送り量＝０ドットライン
ＥＳＣ＋ｊ	〈ｎ１〉〈ｎ２〉＝０	逆方向紙送り量＝０ドットライン
ＥＳＣ＋Ｑ	〈ｎ〉＝０	右マージン＝０ドット
ＥＳＣ＋ｌ	〈ｎ〉＝０	左マージン＝０ドット
ＥＳＣ＋３	〈ｎ〉＝６	行間スペース＝１２ドットライン
ＥＳＣ＋Ａ		
ＥＳＣ＋ＳＰ	〈ｎ〉＝０	文字間スペース＝０ドット
ＤＣ２＋Ｓ	〈ｎ〉＝０	フォントサイズ：２４ドット系
ＥＳＣ＋Ｔ		スーパー／サブスクリプト解除
ＦＳ＋.		漢字モード解除
ＦＳ＋ＤＣ２		１／４角文字解除
ＥＳＣ＋Ｗ	〈ｎ〉＝０	横倍幅拡大印字解除
ＥＳＣ＋ｗ	〈ｎ〉＝０	縦倍幅拡大印字解除
ＥＳＣ＋－	〈ｎ〉＝０	アンダーライン付き印字解除
ＥＳＣ＋Ｉ	〈ｎ〉＝０	白黒反転解除
ＥＳＣ＋｛	〈ｎ〉＝０	倒立印字解除
ＤＣ２＋Ｗ	〈ｎ〉＝０	ＯＲ重ね合わせモード
ＥＳＣ＋％	〈ｎ〉＝０	ダウンロード文字指定解除
ＧＳ＋Ｅ	〈ｎ〉＝２	ヘッド通電時間：定格エネルギー（１００％）
ＤＣ２＋Ｄ	〈ｎ〉＝０	動的分割駆動
ＤＣ２＋Ｆ	〈ｎ〉＝１	分割数＝１
ＤＣ２＋Ａ	〈ｎ〉＝１０００	頭出しステップ数＝１０００ステップ （４２．４㎜）
ＧＳ＋Ｈ	〈ｎ〉＝１	ＨＲＩ文字位置：バーコードの下
ＧＳ＋ｈ	〈ｎ１〉〈ｎ２〉＝１５０	バーコード高さ＝１５０ドットライン （１２．７㎜）
ＧＳ＋ｋ	〈ｎ〉＝２	バーコード種類：ＪＡＮ１３（ＥＡＮ１３）
ＧＳ＋ｗ	〈ｎ１〉＝４	１モジュール・ナローバー幅ドット数： ４ドット（０．３３９㎜）
	〈ｎ２〉＝０	ナロー／ワイド比＝１：２
	〈ｎ３〉＝０	キャラクタ間ギャップ：ナローバー

□ 制御コード解説

ＣＡＮ

〔名　称〕　データ抹消

〔コード〕　１８$_{H}$

〔機　能〕　本コマンド以前に入力されたコマンド受信バッファ内のデータの中で、同一行の全てのデータをクリアします。自動解除付き倍幅拡大指定（ＳＯ）は解除されますが、その他の設定は継続されます。

ＣＲ

〔名　称〕　印字改行

〔コード〕　０Ｄ$_{H}$

〔機　能〕　印字動作を行った後、紙送り動作を行います。
ラインバッファ内にデータがある場合は、ラインバッファ内のデータを印字して紙送り動作を行います。紙送り量は行間スペース設定コマンドで設定されている内容か、初期設定の内容になります。
ラインバッファ内にデータがない場合は、紙送り動作のみ行います。
紙送り量は文字高さ＋行間スペース量です。

ＤＣ３

〔名　称〕　スリープモード設定

〔コード〕　１３$_{H}$

〔機　能〕　本コマンド入力以降、低消費電力モードに入ります。
本コマンド実行時に印字動作が行われている場合は、その印字動作終了後に全機能を停止して動作再開指示待ち状態になります。
この間、本コントロールチップの消費電流は極端に小さくなります。
スリープモードの解除は$\overline{\text{ＳＴＲＢ}}$端子 もしくは $\overline{\text{ＩＮＩＴＩＡＬ}}$端子に“ＬＯＷ”パルスを入力する事で実行されます。
パラレル入力の場合は、通常のデータ書き込み動作 もしくは リセット入力で解除出来ます。シリアル入力の場合は、リセット入力で解除出来ます。
ＴＰ／ＴＰＴ－１９０２／Ｃの制御コードですが当プリンタでは無視されます。

ＤＣ４

〔名　称〕　自動解除付き横倍幅拡大解除

〔コード〕　１４$_{H}$

〔機　能〕　ＳＯによる横倍幅拡大指定を解除します。
ＥＳＣ＋Ｗ＋１コマンドによる倍幅拡大指定は解除されません。

ＤＥＬ

〔名　称〕　１文字削除

〔コード〕　７Ｆ$_{H}$

〔機　能〕　コマンド受信バッファ内の直近の１文字を削除します

ＬＦ

〔名　称〕　印字改行

〔コード〕　$０Ａ_{H}$

〔機　能〕　印字動作を行った後、紙送り動作を行います。
ラインバッファ内にデータがある場合は、ラインバッファ内のデータを印字して紙送り動作を行います。紙送り量は行間スペース設定コマンドで設定されている内容か、初期設定の内容になります。
ラインバッファ内にデータがない場合は、紙送り動作のみ行います。
紙送り量は文字高さ＋行間スペース量です。

ＳＯ

〔名　称〕　自動解除付き横倍幅拡大指定

〔コード〕　$０Ｅ_{H}$

〔機　能〕　横倍幅拡大印字モードを指定します。
内蔵文字，漢字（１／４角文字を含む），外字 及び ダウンロード文字を横方向に２倍に拡大して印字します。文字間スペースは自動的に設定値の２倍になります。
ＤＣ４，ＣＲ，ＬＦ，ＦＦ，ＥＳＣ＋Ｗ＋０，ＣＡＮのコマンド入力 及び バッファフル印字で自動的に解除されます。同一行中に、普通文字，縦拡大文字との混在も可能です。
又、縦倍拡大と同時に指定すれば ４倍角モードになります。

ＥＳＣ　％

〔名　称〕　ダウンロード文字指定／解除

〔コード〕　$１Ｂ_{H}$　２５_{H}　〈ｎ〉

〔機　能〕　ダウンロード文字の指定、解除を行います。
〈ｎ〉＝００_{H}：ダウンロード文字指定を解除
〈ｎ〉＝０１_{H}：ダウンロード文字を指定
ダウンロード文字指定以降はユーザーが登録したフォントデータで印字されます。
ダウンロード文字未登録コードは内蔵フォントが印字されます。

ＥＳＣ　＆

〔名　称〕　　ダウンロード文字定義

〔コード〕　　$1B_H$　26_H　〈ｎ１〉〈ｎ２〉〈ｎ３〉〈ｎ４〉〈ｄ１･･･ｄｎ〉

〔機　能〕　　〈ｎ１〉，〈ｎ２〉で設定されたフォントサイズで、〈ｎ３〉，〈ｎ４〉で指定された文字コードにユーザーフォントを登録します。

１≦〈ｎ１〉≦１６：横方向のバイト数

１≦〈ｎ２〉≦１２７：縦方向のバイト数

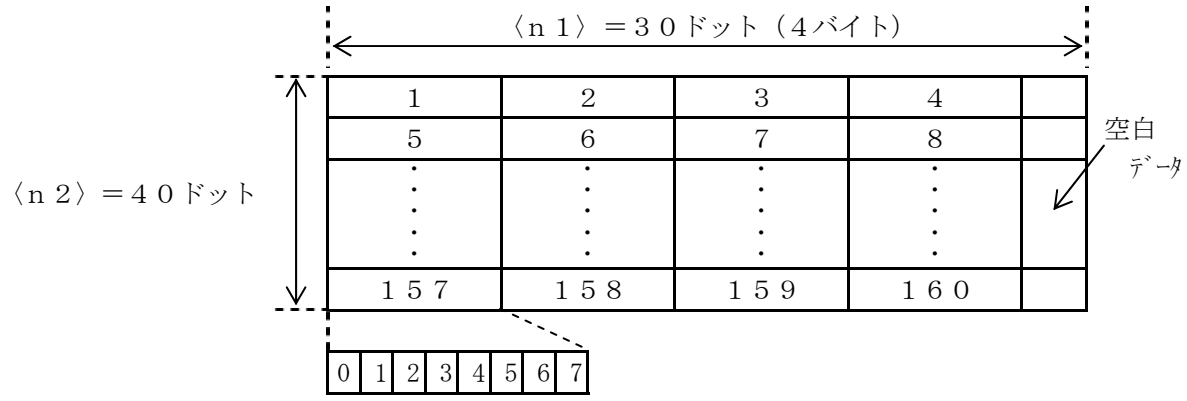
20_H≦〈ｎ３〉≦FF_H，$7F_H$を除く：登録開始文字コード

20_H≦〈ｎ４〉≦FF_H，$7F_H$を除く：登録終了文字コード

〈ｄ１〉～〈ｄｎ〉：フォントデータ

フォントデータは下記の順序で登録されます。

（例．３０ドッ ト×４０ドット）



各ビットは１で印字、０で未印字

横方向のデータ数はフォントデータのドット数÷８として 小数点以下切り上げとした数値を設定して下さい。フォントデータが８ドット単位でない場合は、余りドットを空白ドットして下さい。

文字間スペースは設定値＋余り空白ドットとなります。

尚、フォントデータは各バイト単位で左側がＬＳＢ，右側がＭＳＢです。

登録する文字コードが不連続となる場合は、連続するコードのまとまり毎に定義して下さい。又、異なるフォントサイズの文字データは同時に登録出来ません。同一フォントサイズ毎に登録して下さい。

又、登録文字コードが$7F_H$をまたがる場合は、一旦 $7E_H$で登録を終了して再度80_Hから登録を再開して下さい。

メモリ残容量が登録したい全ての文字コードへの登録に対して不足する場合は、登録が完了出来なかった文字コードのフォントデータが全て無視されます。

ダウンロード文字定義にはメモリ管理情報として、１文字当たり３バイトが使用されます。

ＥＳＣ　－

〔名　称〕　アンダーライン指定／解除

〔コード〕　$1B_H$　$2D_H$　〈ｎ〉

〔機　能〕　アンダーライン付き印字を指定、解除します。

〈ｎ〉＝00_H：アンダーライン付き印字モードを解除

01_H≦〈ｎ〉≦04_H：〈ｎ〉×２ドットライン幅のアンダーライン付き印字モードを指定

アンダーラインはスペース文字を含む全ての文字に文字単位で付加されます。

文字高さは〈ｎ〉×２ドットライン分大きくなります。

尚、白黒反転指定を行ってもアンダーラインは反転されません。

又、左右マージン設定部分にはアンダーラインは付加されません。

アンダーライン指定は１行中に１種類の指定のみ有効です。複数の指定が同一行中にあった場合は、最終指定内容が有効となります。

ＥＳＣ　３

〔名　称〕　行間スペース設定

〔コード〕　$1B_H$　33_H　〈ｎ〉

〔機　能〕　行間スペースを偶数ドットラインに設定します。

奇数設定値には ＋１し、偶数値に補正されます。

00_H≦〈ｎ〉≦FE_H

〈ｎ〉＝FF_Hの場合にはFE_Hとして処理します。

初期値は１２ドットラインです。

ＥＳＣ　@

〔名　称〕　初期化

〔コード〕　$1B_H$　40_H

〔機　能〕　各種設定内容を電源投入直後と同一にします。

コマンド受信バッファの内容はクリアされません。

コマンドの初期設定内容については、初期設定内容の項目を参照して下さい。

ＥＳＣ　Ａ

〔名　称〕　行間スペース設定

〔コード〕　$1B_H$　41_H　〈ｎ〉

〔機　能〕　行間スペースを偶数ドットラインに設定します。

奇数設定値には ＋１し、偶数値に補正されます。

00_H≦〈ｎ〉≦FE_H

〈ｎ〉＝FF_Hの場合にはFE_Hとして処理します。

初期値は１２ドットラインです。

ＥＳＣ　Ｉ

〔名　称〕　白黒反転

〔コード〕　$１Ｂ_{H}$　４９_{H}　〈ｎ〉

〔機　能〕　白黒反転を指定、解除します。

〈ｎ〉＝００_{H}：白黒反転解除（白地に黒文字）

〈ｎ〉＝０１_{H}：白黒反転指定（黒字に白抜き文字）

スペース文字を含む全ての文字を文字単位で白黒反転します。

但し、行間スペース，アンダーライン，バーコード，左右余白は反転しません。同一行中に、通常印字と反転印字の混在が可能です。

初期値は〈ｎ〉＝００_{H}です。

ＥＳＣ　Ｊ

〔名　称〕　印字後、指定量の順方向紙送り

〔コード〕　$１Ｂ_{H}$　$４Ａ_{H}$　〈ｎ１〉〈ｎ２〉

〔機　能〕　印字後、〈ｎ１〉〈ｎ２〉×２ドットラインの順方向紙送り動作を行います。

００００_{H}≦〈ｎ１〉〈ｎ２〉≦$７ＦＦＦ_{H}$

〈ｎ１〉：上位バイトデータ

〈ｎ２〉：下位バイトデータ

ラインバッファ内にデータがある場合は、印字後改行動作を行った後指定量の順方向紙送り動作を行います。ラインバッファ内にデータがない場合は、指定量の順方向紙送り動作のみ行います。

初期値は〈ｎ１〉〈ｎ２〉＝００００_{H}です。

ＥＳＣ　Ｋ

〔名　称〕　ビットイメージ指定

〔コード〕　$1B_H$　$4B_H$　〈ｎ１〉〈ｎ２〉〈ｄ１〉～〈ｄｎ〉

〔機　能〕　〈ｎ１〉〈ｎ２〉で設定されたライン数をイメージデータとして印字します。

0001_H≦〈ｎ１〉〈ｎ２〉≦$FFFF_H$

〈ｎ１〉：上位バイト

〈ｎ２〉：下位バイト

〈ｄ１〉～〈ｄｎ〉：イメージデータ

指定されたドットライン数の間にホストから転送されるデータはビットイメージデータとして扱います。１ドットライン当たりのデータ数は７２バイトですので、転送データ数は７２バイト×印字ライン数となります。転送データ数がビットイメージ印字ライン数を越えた場合は、それ以降のデータは文字／コマンドデータとして処理されます。

転送データ数がビットイメージ印字ライン数に達しない場合は、指定ラインに達するまでイメージデータとして処理します。

左右マージンが設定されている場合は、１ドットライン当たりのデータ数はその分を減じた値となります。

イメージデータ同士（スタンプとビットイメージ）の混在は出来ません。

スタンプ印字中にビットイメージ指定を行った場合は、ビットイメージ印字が優先して行われて、ビットイメージ終了後 スタンプ印字が再開されます。

フォントデータは各バイト単位で左側がＬＳＢ，右側がＭＳＢとなります。

d1	d2	d3		d71	d72
d73	d74	d75			
					dn

0	1	2	3	4	5	6	7

bit　　bit　　各ビットは１で印字、０で未印字

ＥＳＣ　Ｑ

〔名　称〕　右マージン設定

〔コード〕　$1B_H$　51_H　〈ｎ〉

〔機　能〕　右マージンを〈ｎ〉×８ドットに設定します。

00_H≦〈ｎ〉≦36_H

印字有効範囲に対して、右側余白を８ドット単位で設定します。

〈ｎ〉＞36_Hの場合は、本コマンドは無視されます。

初期値は〈ｎ〉＝00_Hです。

行頭での設定のみ有効です。

行頭以外での設定は次行から有効となります。

行単位でのマージン設定など連続的に本コマンドを実行する場合は､必ず 本コマンド指定間に ＣＲ，ＬＦ を実行して下さい。

左右マージンが大きすぎて印字（ダウンロード文字，スタンプ，バーコード）範囲を確保出来ない場合は、印字内容が切り捨てられます。

ＥＳＣ　Ｓ

〔名　称〕　スクリプト指定

〔コード〕　$1B_H$　53_H　〈ｎ〉

〔機　能〕　スーパー／サブスクリプト文字を指定します。

〈ｎ〉＝00_H：スーパースクリプト文字

〈ｎ〉＝01_H：サブスクリプト文字

〈ｎ〉が00_H，01_H以外の場合は、本コマンドは無視されます。

以下の文字コードがスーパー／サブスクリプト文字で印字出来ます。

数字コード：30_H～39_H

通常文字との混在の場合は、スクリプト文字として印字する文字の前後で、必ずスクリプトの指定と解除を行って下さい。

スクリプト指定状態で上記以外の文字コードを入力した場合は、正常に印字されません。

ＥＳＣ　ＳＰ

〔名　称〕　文字間スペース設定

〔コード〕　$1B_H$　20_H　〈ｎ〉

〔機　能〕　文字間スペースを〈ｎ〉×８ドットに設定します。

00_H≦〈ｎ〉≦$0F_H$

文字の右側にスペースを設定します。文字の左側のスペースは０ドットです。文字印字の後の文字間スペースが印字有効範囲を越えた場合、以降のスペース分は無視されます。

初期値は〈ｎ〉＝00_Hです。

倍幅拡大指定時は、設定値×２となります。

１行中に１回の指定のみ有効で、複数指定があった場合、その行の最後に設定された内容が有効です。

ＥＳＣ　Ｔ

〔名　称〕　スクリプト解除

〔コード〕　$1B_H$　54_H

〔機　能〕　スクリプト指定を解除します。

ＥＳＣ　Ｗ

〔名　称〕　横倍幅拡大指定／解除

〔コード〕　$1B_H$　57_H　〈ｎ〉

〔機　能〕　横倍幅拡大印字モードを指定、解除します。

〈ｎ〉＝00_H：横倍幅拡大印字モードを解除

〈ｎ〉＝01_H：横倍幅拡大印字モードを指定

内蔵文字，漢字（１／４角文字を含む），外字 及び ダウンロード文字を横方向に２倍に拡大して印字します。文字間スペースは自動的に設定値の２倍になります。

同一行中に、普通文字，縦倍拡大文字との混在も可能です。

又、縦倍拡大と同時に指定すれば４倍角モードになります。

ＥＳＣ　ｉ

〔名　称〕　パーシャルカット

〔コード〕　$1B_H$　69_H

〔機　能〕　パーシャルカット（残り量 約２㎜）を行います。

ＥＳＣ　ｊ

〔名　称〕　印字後、指定量の逆方向紙送り

〔コード〕　$1B_H$　$6A_H$　〈ｎ１〉〈ｎ２〉

〔機　能〕　印字後、〈ｎ１〉〈ｎ２〉×２ドットラインの逆方向紙送り動作を行います。

0000_H≦〈ｎ１〉〈ｎ２〉≦$7FFF_H$

〈ｎ１〉：上位バイトデータ

〈ｎ２〉：下位バイトデータ

ラインバッファ内にデータがある場合は、印字後改行動作を行った後指定量の逆方向紙送り動作を行います。ラインバッファ内にデータがない場合は、指定量の逆方向紙送り動作のみ行います。

初期値は〈ｎ１〉〈ｎ２〉＝0000_Hです。

１ドットラインは0．０８４７㎜です。

ＴＰ／ＴＰＴ－１９０２／Ｃの制御コードですが当プリンタでは無視されます。

ＥＳＣ　１

〔名　称〕　左マージン設定

〔コード〕　$１Ｂ_{H}$　$６Ｃ_{H}$　〈ｎ〉

〔機　能〕　左マージンを〈ｎ〉×８ドットに設定します。

００_{H}≦〈ｎ〉≦３６_{H}

印字有効範囲に対して、左側余白を８ドット単位で設定します。

〈ｎ〉＞３６_{H}の場合は、本コマンドは無視されます。

初期値は〈ｎ〉＝００_{H}です。

行頭での設定のみ有効です。

行頭以外での設定は次行から有効となります。

行単位でのマージン設定など連続的に本コマンドを実行する場合は､必ず 本コマンド指定間に ＣＲ，ＬＦ を実行して下さい。

左右マージンが大きすぎて印字（ダウンロード文字，スタンプ，バーコード）範囲を確保出来ない場合は、印字内容が切り捨てられます。

ＥＳＣ　ｍ

〔名　称〕　パーシャルカット

〔コード〕　$１Ｂ_{H}$　$６Ｄ_{H}$

〔機　能〕　パーシャルカット（残り量 約２㎜）を行います。

ＥＳＣ　ｏ

〔名　称〕　スタンプ印字（１）

〔コード〕　$１Ｂ_{H}$　$６Ｆ_{H}$

〔機　能〕　複数のスタンプデータを印字します。

ＤＣ２＋ｐで設定されているスタンプデータを印字します。

同一行中に複数のスタンプデータを混在させて印字出来ます。

同時に５個まで印字可能です。但し、文字データとの混在は出来ません。

同一行中に複数のスタンプデータを混在させる場合は､展開処理時間によって 印字濃度が部分的に変化する時があります。

ＴＰ／ＴＰＴ－１９０２／Ｃの制御コードですが当プリンタでは無視されます。

ＥＳＣ　ｓ

〔名　称〕　スタンプ印字（２）

〔コード〕　$１Ｂ_{H}$　７３_{H}

〔機　能〕　単独のスタンプデータを印字します。

ＤＣ２＋ｐで設定されているスタンプデータを印字します。

１つのスタンプデータを単独に印字する場合は、本コマンドを用います。

同時に５個まで設定可能で 設定された順に１つずつ印字されます。

文字データとの混在は出来ません。

スタンプデータを高速に印字するので、均一な印字濃度が得られます。

ロゴ印字など単独で印字する場合は、本コマンドを用いるようにして下さい。

ＴＰ／ＴＰＴ－１９０２／Ｃの制御コードですが当プリンタでは無視されます。

ＥＳＣ　ｗ

〔名　称〕　縦倍拡大指定／解除

〔コード〕　１Ｂ$_{H}$　７７$_{H}$　〈ｎ〉

〔機　能〕　縦倍幅拡大を指定、解除します。

〈ｎ〉＝００$_{H}$：縦倍幅拡大印字モードを解除

〈ｎ〉＝０１$_{H}$：縦倍幅拡大印字モードを指定

内蔵文字，漢字（１／４角文字を含む），外字 及び ダウンロード文字を縦方向に２倍に拡大して印字します。

同一行中に、普通文字，横倍拡大文字との混在も可能です。

又、横倍拡大と同時に指定すれば ４倍角モードになります。

１行中に異なるサイズの文字が混在する場合は、下揃えで印字されます。

ＥＳＣ　{

〔名　称〕　倒立印字指定／解除

〔コード〕　１Ｂ$_{H}$　７Ｂ$_{H}$　〈ｎ〉

〔機　能〕　倒立印字モードを指定、解除します。

〈ｎ〉＝００$_{H}$：倒立印字モード解除（正立印字）

〈ｎ〉＝０１$_{H}$：倒立印字指定（上下１８０度回転印字）

紙送り方向

正立印字　　倒立印字

イメージ印刷（ビットイメージ・スタンプ・バーコード）時は 本モードの指定は出来ません。

行の先頭での指定のみ有効で、行の途中での指定では 次行から有効となります。

倒立印字の場合の左右余白は正立印字とは逆になります。

同一行中に倒立印字と正立印字の混在は出来ません。

行間スペースを０に設定した状態で、１行ごとに倒立と正立の切り替えを行わない様にして下さい。

倒立印字途中に、イメージ印刷を行う場合、一度モードを解除してイメージ印刷を行い、その後、再度モードの指定を行って下さい。

ＦＳ　＆

〔名　称〕　漢字モード指定

〔コード〕　$１Ｃ_{H}$　２６_{H}

〔機　能〕　本コマンド以降、漢字モードになります。
フォントサイズ選択により、２種類の全角文字を印字出来ます。
　２４ドット系：２４×２４ドット文字
　１６ドット系：１６×１６ドット文字
１６×１６ドット文字はＴＰ／ＴＰＴ－１９０２／Ｃで使用できますが、当プリンタでは印字することが出来ません。

ＦＳ　２

〔名　称〕　外字定義

〔コード〕　$１Ｃ_{H}$　３２_{H}　〈ｎ１〉〈ｎ２〉〈ｄ１〉～〈ｄｎ〉

〔機　能〕　外字データを定義します。
　〈ｎ１〉＝７７_{H}：登録文字コード上位バイト
　２１_{H}≦〈ｎ２〉≦$７Ｅ_{H}$：登録文字コード下位バイト
　〈ｄ１〉～〈ｄｎ〉：フォントデータ
外字データは７７２１_{H}～$７７７Ｅ_{H}$のアドレスに登録出来ます。
フォントサイズはＤＣ２＋Ｓコマンドで選択されたサイズが有効になります。
（２４ドット系の場合のフォントデータは７２バイト，１６ドット系の場合のフォントデータは３２バイトとして扱います。）
同一文字コードに２４ドット系，１６ドット系両方を定義する場合は、ＤＣ２＋Ｓコマンドと組み合わせて 別々に定義する必要があります。
未定義文字コードをアクセスした場合は、全角スペースが印字されます。
メモリ残容量が外字データの登録に不足する場合は､データは全て無効になります。
又、フォントデータが登録に必要なデータ数（７２ 又は ３２バイト）までフォントデータとして扱います。
外字定義には、メモリ管理情報として１文字当たり３バイトが使用されます。
フォントデータは各バイト単位で左側がＬＳＢ，右側がＭＳＢとなります。

１６ドット系

d1	d2
d3	d4
d31	d32

0	1	2	3	4	5	6	7

bit　　bit

２４ドット系

d1	d2	d3
d4	d5	d6
d70	d71	d72

各ビットは１で印字、０で未印字

ＦＳ　ＤＣ２

〔名　称〕　１／４角文字解除

〔コード〕　$１Ｃ_{H}$　１２_{H}

〔機　能〕　１／４角文字モードを解除し、漢字全角文字モードにします。

ＦＳ　ｒ

〔名　称〕　１／４角文字指定

〔コード〕　$１Ｃ_{H}$　７２_{H}　〈ｎ〉

〔機　能〕　１／４角文字を指定します。

〈ｎ〉の値により、印字位置を選択します。

〈ｎ〉＝００_{H}：上付き指定

〈ｎ〉＝０１_{H}：下付き指定

２４ドット系／１６ドット系各文字の漢字コードが１／４角文字で印字出来ます。

英数字：２３３０_{H}～$２３７Ａ_{H}$

上記以外の漢字コードはそれぞれの全角文字サイズで印字されます。

本コマンド以前に漢字モードに指定されている必要があります。

漢字モードが本コマンド以前に指定されていない場合は、本コマンドは無視されます。文字間スペースは設定値通りです。

ＦＳ　．

〔名　称〕　漢字モード解除

〔コード〕　$１Ｃ_{H}$　$２Ｅ_{H}$

〔機　能〕　漢字モード指定，１／４角文字指定を解除します。

ＤＣ２　Ａ

〔名　称〕　オートローディング時の頭出し量の設定

〔コード〕　１２_{H}　４１_{H}　〈ｎ１〉〈ｎ２〉

〔機　能〕　オートローディング時の紙送り量を設定します。

００００_{H}≦〈ｎ１〉〈ｎ２〉≦$ＦＦＦＦ_{H}$

本コマンド以降、設定された内容でオートローディング動作が行われます。

設定量の単位は１ステップ（０．０４２４㎜）です。

初期値は１０００ステップ（４２．４㎜）です。

〈ｎ１〉〈ｎ２〉＝００００_{H}とすれば オートローディング動作は行われなくなり、手動用紙セットモードになります。

ＤＣ２　Ｄ

〔名　称〕　分割駆動モード選択

〔コード〕　12_H　44_H　〈ｎ〉

〔機　能〕　印字ヘッドの固定、動的分割駆動を選択します。

〈ｎ〉＝00_H：動的分割駆動

〈ｎ〉＝01_H：固定分割駆動

初期設定内容は動的分割駆動です。

動的分割駆動とは､印字パターンの内容によって サーマルヘッドの分割数を可変して印字する方法です。サーマルヘッドの分割数が変化する為、プリンタの印字速度も１ラインドット毎に変化する場合があります。

この駆動方法は 同時に印字を許可するドット数が１４４ドット以下になる様にサーマルヘッドを分割する為、定電流制御に近いものとなります。

固定分割駆動とは、サーマルヘッドの分割を一定にして印字する駆動方法です。

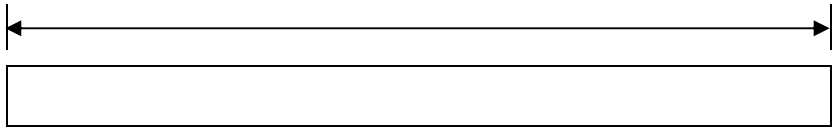
プリンタの印字速度は常に一定になります。

この駆動方法は 同時に印字を許可するドット数を５７６ドット（分割数１），２８８ドット（分割数２），１４４ドット（分割数４）に設定出来ます。同時に発色するドット数が１４４ドットを越えない分割数を設定して下さい。

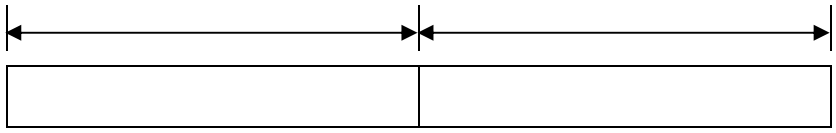
同時に１４４ドットを越えて発色すると 印字が薄くなる場合があります。

下図はそれぞれの分割数を用いた場合のドット状態を示したものです。

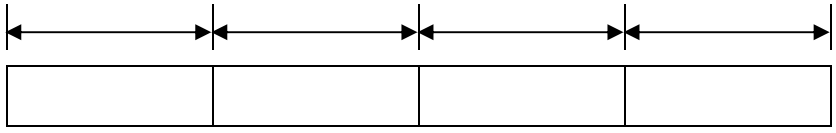
分割数１：同時印字許可ドット数　５７６ドット



分割数２：同時印字許可ドット数　２８８ドット



分割数４：同時印字許可ドット数　１４４ドット



↑　　↑

１ドット目　　５７６ドット目

例えば、分割数２の場合は まず１～２８８ドット目までを印字し、その後 ２８９～５７６ドット目を印字します。

ＤＣ２　Ｆ

〔名　称〕　固定分割数設定

〔コード〕　１２$_{H}$　４６$_{H}$　〈ｎ〉

〔機　能〕　固定分割駆動の分割数を設定します。
〈ｎ〉の値が分割数になります。
〈ｎ〉＝０１$_{H}$，０２$_{H}$，０４$_{H}$のいずれか。
固定３分割駆動は設定出来ません。
初期値は〈ｎ〉＝０１$_{H}$です。

ＤＣ２　Ｍ

〔名　称〕　メモリ領域操作

〔コード〕　１２$_{H}$　４Ｄ$_{H}$　〈ｎ１〉〈ｎ２〉〈ｎ３〉〈ｎ４〉

〔機　能〕　内蔵メモリの機能割当を行います。
〈ｎ１〉：使用目的
〈ｎ１〉＝００$_{H}$：ダウンロード文字登録
〈ｎ１〉＝０１$_{H}$：外字登録
〈ｎ１〉＝０２$_{H}$：スタンプ登録
〈ｎ１〉＝０３$_{H}$：マクロ処理登録
〈ｎ２〉：領域解放／確保
〈ｎ２〉＝００$_{H}$：領域解放
〈ｎ２〉＝０１$_{H}$：領域確保
〈ｎ３〉，〈ｎ４〉：領域を確保するバイト数
０００１$_{H}$≦〈ｎ３〉〈ｎ４〉≦７Ｂ００$_{H}$
〈ｎ３〉：上位バイト
〈ｎ４〉：下位バイト
ダウンロード文字，外字，スタンプ，マクロ処理の各データを登録する前に、必ず本コマンドで必要な領域を確保して下さい。尚、領域を解放する場合は、各使用目的で確保されていた領域全てを解放します。
一部の解放は出来ません。
領域解放時は〈ｎ３〉〈ｎ４〉によるサイズ指定は必要ありません。
解放された領域は他の使用目的に割り当てる事が可能ですが、この場合領域を増やしたい使用目的の領域も一旦解放して その後まとめて再確保して下さい。但し、一旦領域を解放すると その領域に設定されていたデータは全てクリアされますので注意して下さい。
又、メモリ残容量が確保したい領域のサイズより小さい場合は、本コマンドは無視されます。

ＤＣ２　Ｓ

〔名　称〕　フォントサイズ選択

〔コード〕　12_H　53_H　〈ｎ〉

〔機　能〕　外字 及び 漢字の文字フォントサイズを選択します。

〈ｎ〉＝00_H：２４ドット系

〈ｎ〉＝01_H：１６ドット系

〈ｎ〉＞01_Hの場合は、無視されます。

初期値は〈ｎ〉＝00_Hです。

ＡＮＫ文字については３８ドットフォントのみです。

漢字の１６ドットフォントはＴＰ／ＴＰＴ－１９０２／Ｃで使用できますが、当プリンタでは印字することが出来ません。

ＤＣ２　Ｗ

〔名　称〕　重ね合わせモード選択

〔コード〕　12_H　57_H　〈ｎ〉

〔機　能〕　スタンプと文字との重ね合わせ印字モードを選択します。

〈ｎ〉＝00_H：ＯＲ重ね合わせ

〈ｎ〉＝01_H：ＸＯＲ重ね合わせ

ＯＲ重ね合わせモードの場合は、スタンプデータと文字データのいずれか一方に黒データがある時にそのデータが印字されます。

ＸＯＲ重ね合わせモードの場合は、スタンプデータと文字データの両方とも黒データがある時にそのデータが印字されません。

ＴＰ／ＴＰＴ－１９０２／Ｃの制御コードですが当プリンタでは無視されます。

ＤＣ２　o

〔名　称〕　スタンプ登録

〔コード〕　12_H　$6F_H$　〈ｎ１〉〈ｎ２〉〈ｎ３〉〈ｄ１〉～〈ｄｎ〉

〔機　能〕　スタンプデータを登録します。

00_H≦〈ｎ１〉≦FF_H：スタンプ番号

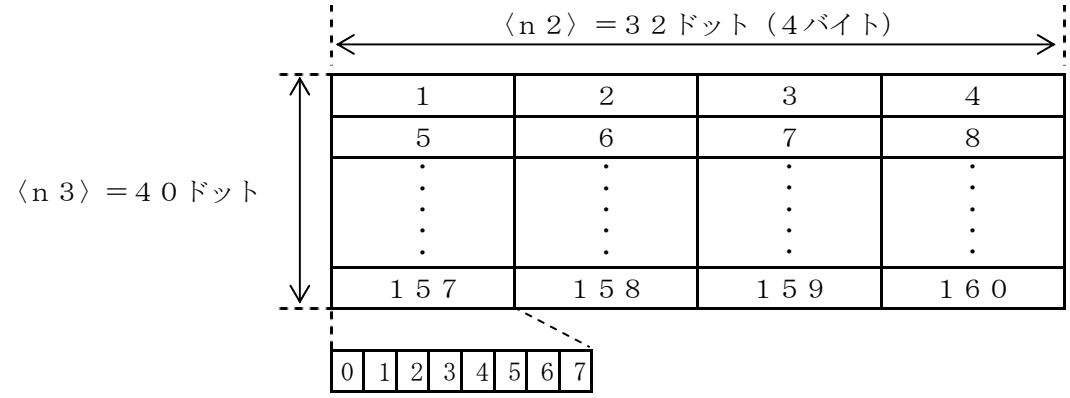
01_H≦〈ｎ２〉≦48_H：横方向のバイト数

01_H≦〈ｎ３〉≦FF_H：縦方向のライン数

〈ｄ１〉～〈ｄｎ〉：イメージデータ

スタンプデータは下記の順序で登録されます。

（例．３２ドット×４０ドット）



各ビットは１で印字、０で未印字

横方向のデータ数はスタンプデータのドット数÷８として ８ドット単位で設定して下さい。

スタンプデータは各バイト単位で左側がＬＳＢ，右側がＭＳＢとなります。同一スタンプ番号に新たにスタンプを登録する場合は､以前のスタンプの内容は消去され新たな内容が上書きされます。

メモリ残容量がスタンプデータの登録に対して不足する場合は、スタンプデータが全て無視されます。スタンプ登録にはメモリ管理情報として１回の登録当たり３バイトが使用されます。

ＴＰ／ＴＰＴ－１９０２／Ｃの制御コードですが当プリンタでは無視されます。

ＤＣ２　ｐ

〔名　称〕　スタンプ設定

〔コード〕　12_H　70_H　〈ｎ１〉〈ｎ２〉

〔機　能〕　スタンプ番号と印字位置を指定します。

00_H≦〈ｎ１〉≦FF_H：スタンプ番号

00_H≦〈ｎ２〉≦FF_H：印字位置

印字有効範囲の左端を基準として ８ドット単位でスタンプ印字位置を設定します。スタンプ設定後、文字コードとＣＲ，ＬＦなどの印字コマンドを入力すると スタンプと文字を組み合わせて印字出来ます。スタンプ印字位置に文字コードを入力すると スタンプと文字を重ね合わせて印字出来ます。〈ｎ２〉で設定された印字位置によりスタンプデータが同一ライン中に入りきらない部分は印字されません。

（左右マージン設定内容は本コマンドでも有効です。）

未登録のスタンプ番号を指定した場合は、〈ｎ２〉まで無視されます。

文字の印字行よりもスタンプの縦方向の印字ライン数の方が大きい場合（文字印字終了後もスタンプ部分の印字のみ継続される場合）は、スタンプの印字が終了するまで 文字コード20_H（スペース文字）＋ＣＲ（ＬＦ）を入力して下さい。

スタンプと文字を重ねて印刷する場合は、部分的に印字濃度が変化する場合があります。固定２分割、４分割に設定して印字して下さい。

（ＤＣ２ ＋ Ｄ、ＤＣ２ ＋ Ｆ 参照）

ＴＰ／ＴＰＴ－１９０２／Ｃの制御コードですが当プリンタでは無視されます。

ＤＣ２　ｑ

〔名　称〕　スタンプ消去

〔コード〕　12_H　71_H　〈ｎ〉

〔機　能〕　登録されているスタンプデータを消去します。

00_H≦〈ｎ〉≦FF_H：スタンプ番号

スタンプデータ消去後は、占有されていたメモリ領域は解放されてメモリの空き容量が増えます。スタンプ設定中に本コマンドが実行された場合は、設定された番号のスタンプが強制的に消去されて スタンプ設定も解除されます。

ＴＰ／ＴＰＴ－１９０２／Ｃの制御コードですが当プリンタでは無視されます。

ＧＳ　Ｅ

〔名　称〕　ヘッド通電時間調整

〔コード〕　$1D_H$　45_H　〈ｎ〉

〔機　能〕　ヘッド通電時間の定格エネルギーに対する比率を選択します。

〈ｎ〉＝00_H：　７５.０％　　〈ｎ〉＝04_H：１２５.０％

〈ｎ〉＝01_H：　８７.５％　　〈ｎ〉＝05_H：１３７.５％

〈ｎ〉＝02_H：１００.０％　　〈ｎ〉＝06_H：１５０.０％

〈ｎ〉＝03_H：１１２.５％

ヘッド通電時間の調整は本コマンド実行後 次の行から有効となります。

電源投入直後 又はリセット直後に設定された場合は､第１行目から有効となります。

初期値は〈ｎ〉＝02_H（１００％）です。

本コマンドは記録紙の種類による濃度差を調整するものです。

ＧＳ　Ｈ

〔名　称〕　ＨＲＩ文字位置選択

〔コード〕　$１Ｄ_{H}$　４８_{H}　〈ｎ〉

〔機　能〕　ＨＲＩ（Human Readable Interpretation）文字の印字位置を選択します。

〈ｎ〉＝００_{H}：印字しない

〈ｎ〉＝０１_{H}：バーコードの下

〈ｎ〉＝０２_{H}：バーコードの上

〈ｎ〉＝０３_{H}：バーコードの上下両方

ＨＲＩ文字は内蔵文字が使用されます。

ＵＰＣ－Ａ，ＵＰＣ－Ｅ，ＪＡＮ１３，ＪＡＮ８では、〈ｎ〉の値に関係なくバーコードの下になります。

ＧＳ　ｈ

〔名　称〕　バーコードの高さ設定

〔コード〕　$１Ｄ_{H}$　６８_{H}　〈ｎ１〉〈ｎ２〉

〔機　能〕　印字するバーコードの縦方向の長さ（高さ）を設定します。

〈ｎ１〉，〈ｎ２〉：バーコード印字ドットライン数

００００_{H}≦〈ｎ１〉〈ｎ２〉≦$７ＦＦＦ_{H}$

〈ｎ１〉：上位バイト

〈ｎ２〉：下位バイト

高さは〈ｎ１〉〈ｎ２〉×２ドットラインになります。

〈ｎ１〉〈ｎ２〉＝００００_{H}の場合は、バーコード印字が行われずＨＲＩ文字のみ印字され、ＪＡＮ１３(EAN13)、ＪＡＮ８(EAN8)、ＵＰＣ－Ａのモジュラスチェックキャラクタは印字されません。

ＧＳ　ｋ

〔名　称〕　バーコード種類選択／印字

〔コード〕　$1D_H$　$6B_H$　〈ｎ〉〈ｄ１〉～〈ｄｎ〉　ＮＵＬＬ（00_H）

〔機　能〕　バーコードの種類を指定し、印字します。

〈ｎ〉：バーコード種類

〈ｎ〉＝00_H：ＵＰＣ－Ａ

〈ｎ〉＝01_H：ＵＰＣ－Ｅ

〈ｎ〉＝02_H：ＪＡＮ１３（ＥＡＮ）

〈ｎ〉＝03_H：ＪＡＮ８（ＥＡＮ）

〈ｎ〉＝04_H：ＣＯＤＥ３９

〈ｎ〉＝05_H：ＩＴＦ

〈ｎ〉＝06_H：ＣＯＤＡＢＡＲ（ＮＷ７）

〈ｄ１〉～〈ｄｎ〉：文字コードデータ

文字コードデータ列の末尾にＮＵＬＬ（00_H）が入力されると、それまでに入力された文字列をバーコードで印字します。尚、選択されたバーコード種類に該当する文字コードがなかった場合は、下記のように処理されます。

00_H≦〈ｎ〉≦03_H：それまでに入力されていた文字コード列をＨＲＩ文字で印字します。

04_H≦〈ｎ〉≦06_H：それまでに入力されていた文字コード列をバーコードで印字します。

バーコードの印字位置は左右マージン設定コマンドで設定して下さい。

桁数が固定である00_H≦〈ｎ〉≦03_Hのバーコードは 必ず入力文字数を桁数に合わせて下さい。

規定の桁数に合致しない場合は、ＮＵＬＬ（00_H）が入力されるまでのデータは全て無視されます。

ＣＯＤＥ３９の〈d_1〉～〈d_n〉にはスタート/ストップコードの“*”が必要です。

ＮＷ７のスタート/ストップコードは“Ａ、Ｂ、Ｃ、Ｄ”の４種類のみです。

＜バーコード印字のデータ桁数とチェックデジットについて＞

コード名	受信データ数	チェックデジット
ＪＡＮ１３，ＥＡＮ１３	１２桁	モジュラス１０チェックキャラクタをバーコード印字する。
ＪＡＮ８，ＥＡＮ８	７桁	同　上
ＵＰＣ－Ａ	１１桁	同　上
ＵＰＣ－Ｅ　（注）	１１桁	モジュラス１０チェックキャラクタを算出するが、印字はしない。（パリティの組合せを決めるもの）
ＣＯＤＥ３９，ＩＴＦ ＮＷ７	可変	チェックデジット無し

（注）ＵＰＣ－ＥはＴＰ／ＴＰＴ－１９０２／Ｃで使用できますが、当プリンタでは無視されます。

ＧＳ　ｗ

〔名　称〕　バーコード横サイズ／倍率設定

〔コード〕　$1D_H$　77_H　〈ｎ１〉〈ｎ２〉〈ｎ３〉

〔機　能〕　バーコードのエレメント仕様を設定します。

01_H≦〈ｎ１〉≦55_H：ナローバー幅（ドット数）

〈ｎ２〉：ナローバー／ワイドバー比

〈ｎ２〉＝00_H ･･･ ナロー：ワイド＝１：２．０

〈ｎ２〉＝01_H ･･･ ナロー：ワイド＝１：２．５

〈ｎ２〉＝02_H ･･･ ナロー：ワイド＝１：３．０

〈ｎ３〉：キャラクタ間のギャップ

〈ｎ３〉＝00_H：ナローバー

〈ｎ３〉＝01_H：ワイドバー

キャラクタ間のギャップはそれが必要なバーコードに付加されます。

本プリンタの１ドット幅は０．０８４７㎜です。

ナローバー幅やナローバー／ワイドバー比はリーダーの仕様に合わせて設定して下さい。

ＵＰＣ－Ａ，ＵＰＣ－Ｅ，ＪＡＮ１３，ＪＡＮ８を印字する時、本コマンドは無視されます。

基本モジュール幅は４ドット（０．３３９㎜）に固定となります。

ＧＳ　：

〔名　称〕　マクロ処理定義の開始／終了

〔コード〕　$1D_H$　$3A_H$　〈ｎ〉〈ｄ１〉～〈ｄｎ〉$1D_H$　$3A_H$

〔機　能〕　マクロ処理定義の開始、終了を設定します。

00_H≦〈ｎ〉≦FF_H：マクロ処理番号

マクロ処理として定義する登録データ〈ｄ１〉～〈ｄｎ〉に続いてＧＳ＋：を入力した場合、マクロ処理定義を終了します。

一旦登録したマクロ処理データはマクロ処理番号で呼出可能です。

マクロ処理定義の中で他のマクロ処理の呼出（ネスティング）及びそれ自身のマクロ処理の登録は出来ません。マクロ処理定義中にＧＳ＋：が入力された場合は、マクロ定義は中断されてそれまでのデータを〈ｎ〉番のマクロ処理として登録します。

又、メモリ残容量がマクロ処理データの登録に対して不足する場合は、登録データが全て無視されます。マクロ処理登録にはメモリ管理情報として１回の登録当たり３バイトが使用されます。

ＴＰ／ＴＰＴ－１９０２／Ｃの制御コードですが当プリンタでは無視されます。

ＧＳ　^

〔名　称〕　マクロ処理の実行

〔コード〕　$1D_H$　$5E_H$　〈ｎ〉

〔機　能〕　マクロ処理を実行します。

00_H≦〈ｎ〉≦FF_H：マクロ処理番号

ＴＰ／ＴＰＴ－１９０２／Ｃの制御コードですが当プリンタでは無視されます。

ＧＳ　|

〔名　称〕　マクロ処理の消去

〔コード〕　$1D_H$　$7C_H$　〈ｎ〉

〔機　能〕　マクロ処理登録データを消去します。

00_H≦〈ｎ〉≦FF_H：マクロ処理番号

使用していたメモリ領域は解放されて 他の処理に使用可能となります。

マクロ処理定義中の本コマンドの定義は無視されます。

ＴＰ／ＴＰＴ－１９０２／Ｃの制御コードですが当プリンタでは無視されます。

□　キャラクタ・コード表

コードは１６進数

ＳＰ：空白

下記以外のコードは全て無視されます。

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0			SP	0	@	P	`	p	▁	┴	SP	ー	タ	ミ	═	×
1			!	1	A	Q	a	q	▂	┬	。	ア	チ	ム	╞	円
2		DC2	”	2	B	R	b	r	▃	┤	「	イ	ツ	メ	╪	年
3		DC3	#	3	C	S	c	s	▄	├	」	ウ	テ	モ	╡	月
4		DC4	$	4	D	T	d	t	▅	━	、	エ	ト	ヤ	◢	日
5			%	5	E	U	e	u	▆	┼	・	オ	ナ	ユ	◣	時
6			&	6	F	V	f	v	▇	│	ヲ	カ	ニ	ヨ	◥	分
7			’	7	G	W	g	w	■	┃	ァ	キ	ヌ	ラ	◤	秒
8		CAN	(	8	H	X	h	x	▏	┌	ィ	ク	ネ	リ	♤	〒
9			)	9	I	Y	i	y	▎	┐	ゥ	ケ	ノ	ル	♡	市
A	LF		*	:	J	Z	j	z	▍	└	ェ	コ	ハ	レ	◇	区
B		ESC	+	;	K	[	k	{	▋	┘	ォ	サ	ヒ	ロ	♧	町
C	FF	FS	,	<	L	¥	l	¦	▉	╱	ャ	シ	フ	ワ	●	村
D	CR	GS	−	=	M	]	m	}	▊	╲	ュ	ス	ヘ	ン	○	人
E	SO		.	>	N	^	n	~	▋	╳	ョ	セ	ホ	゛	／	
F			／	?	O	_	o		┼	╲	ッ	ソ	マ	゜	＼	

□　漢字第一水準

Ｂ１：第一バイト、　Ｂ２：第二バイト

B1＼B2		16進	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
			0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
16進			0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
2	1	1			、	。	,	.	・	:	;	?	!	゛	゜	´	`	¨	^	￣	_	ヽ	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	○	ー	―	‐	／
2	2	2		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒	→	←	↑	↓	〓													∈	∋	⊆	⊇	⊂	⊃
2	3	3																	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9						
2	4	4		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ	ぞ	た
2	5	5		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ	ゾ	タ
2	6	6		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω							
2	7	7		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы	Ь	Э
2	8	8		─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰	┥	┸
3	0	16		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾	鮎	或
3	1	17		院	陰	隠	韻	吋	右	宇	烏	羽	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘	唄	鬱	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂	云	運
3	2	18		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音	下	化	仮	何
3	3	19		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬	馨	蛙
3	4	20		垢	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺	款	歓
3	5	21		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺	犠	疑
3	6	22		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興	蕎	郷
3	7	23		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍	郡	卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭	珪	型
3	8	24		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現	絃	舷
3	9	25		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構	江	洪
3	A	26		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	些	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂	詐	鎖
3	B	27		察	撮	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕	讃	賛
3	C	28		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉	湿	漆
3	D	29		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十	従	戎
3	E	30		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶	松	梢
3	F	31		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申	疹	真
4	0	32		澄	摺	寸	世	瀬	畝	是	凄	制	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製	西	誠
4	1	33		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賤	践	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然	全	禅	繕	膳	糎	噌	塑	岨	措	曾	曽	楚
4	2	34		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜	他	多
4	3	35		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	筆	綻	耽
4	4	36		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗	直	朕
4	5	37		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼	転	顛
4	6	38		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠	鴇	匿
4	7	39		如	尿	韮	任	妊	忍	認	濡	禰	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃	粘	乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能	脳	膿
4	8	40		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判	半	反
4	9	41		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表	評	豹
4	A	42		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮	粉	糞	紛	雰	文	聞	丙	併	兵	塀	幣	平
4	B	43		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴	望	某
4	C	44		漫	蔓	味	未	魅	巳	箕	岬	密	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	務	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	冥	名	命
4	D	45		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	予	余	与
4	E	46		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚	両	凌
4	F	47		蓮	連	錬	呂	魯	櫓	炉	賂	路	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄	肋	録

B2 / B1		16進	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
			0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
16進			32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63
2	1	1	＼	～	∥	－	…	‥	‘	’	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】	＋	－	±	×
2	2	2	∪	∩									∧	∨	¬	⇒	⇔	∀	∃												∠	⊥	⌒	∂
2	3	3		A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z					
2	4	4	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ	ぼ	ぽ	ま	み
2	5	5	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ	ボ	ポ	マ	ミ
2	6	6		α	β	γ	δ	ε	ζ	η	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω							
2	7	7	Ю	Я																а	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й	к	л	м	н
2	8	8	╋																															
3	0	16	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇	鞍	杏	以	伊	位	依	偉	囲	夷	委	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異	移	維	緯	胃
3	1	17	雲	荏	餌	叡	営	嬰	影	映	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越	閲	榎	厭	円
3	2	18	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓	蝦	課	嘩	貨
3	3	19	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額	顎	掛	笠	樫
3	4	20	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館	舘	丸	含	岸
3	5	21	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸	宮	弓	急	救
3	6	22	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊	芹	菌	衿	襟
3	7	23	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚	鶏	芸	迎	鯨
3	8	24	言	諺	限	乎	個	古	呼	固	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇	顧	鼓	五	互
3	9	25	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱	砿	鋼	閤	降
3	A	26	裟	坐	座	挫	債	催	再	最	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁	載	際	剤	在
3	B	27	酸	餐	斬	暫	残	仕	仔	伺	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯	施	旨	枝	止
3	C	28	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺	尺	杓	灼	爵
3	D	29	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循	旬	楯	殉	淳
3	E	30	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔	詳	象	賞	醤
3	F	31	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭	笥	諏	須	酢	図	厨
4	0	32	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙	接	摂	折	設
4	1	33	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想	捜	掃	挿	掻
4	2	34	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎	腿	苔	袋	貸
4	3	35	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断	暖	檀	段	男	談	値	知	地	弛	恥	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築	畜	竹	筑	蓄
4	4	36	沈	珍	賃	鎮	陳	津	墜	椎	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壺	嬬	紬	爪	吊
4	5	37	点	伝	殿	澱	田	電	兎	吐	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴	怒	倒	党	冬
4	6	38	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁	頓	呑	曇	鈍
4	7	39	農	覗	蚤	巴	把	播	覇	杷	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配	倍	培	媒	梅
4	8	40	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	匪	卑	否	妃	庇
4	9	41	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻	敏	瓶	不	付	埠	夫	婦	富	冨	布	府	怖	扶	敷
4	A	42	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁	鞭	保	舗	鋪
4	B	43	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔	本	翻	凡	盆
4	C	44	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅	免	棉	綿	緬	面	麺	摸	模	茂	妄	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙	目	杢	勿	餅
4	D	45	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽	養	慾	抑	欲
4	E	46	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟	瑠	塁	涙	累
4	F	47	論	倭	和	話	歪	賄	脇	惑	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾	碗	腕												

B2 / B1		16進	6 0	6 1	6 2	6 3	6 4	6 5	6 6	6 7	6 8	6 9	6 A	6 B	6 C	6 D	6 E	6 F	7 0	7 1	7 2	7 3	7 4	7 5	7 6	7 7	7 8	7 9	7 A	7 B	7 C	7 D	7 E	7 F
16進			64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95
2	1	1	÷	＝	≠	＜	＞	≦	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	¥	＄	¢	£	%	＃	＆	＊	@	§	☆	★	○	●	◎	◇	
2	2	2	∇	≡		≪	≫	√	∽	∝	∵	∫	∬								Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶					◯	
2	3	3		a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z					
2	4	4	む	め	も	ゃ	や	ゅ	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ	ゐ	ゑ	を	ん												
2	5	5	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ									
2	6	6																																
2	7	7	о	п	р	с	т	у	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э	ю	я														
2	8	8																																
3	0	16	菱	衣	謂	違	遺	医	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻	引	飲	淫	胤	蔭	
3	1	17	園	堰	奄	宴	延	怨	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩	於	汚	甥	凹	央	奥	往	応	
3	2	18	迦	過	霞	蚊	俄	峨	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔	恢	懐	戒	拐	改	
3	3	19	櫂	梶	鰍	潟	割	喝	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌	噛	鴨	栢	茅	萱	
3	4	20	巌	玩	癌	眼	岩	翫	贋	雁	頑	顔	願	企	伎	危	喜	器	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机	旗	既	期	棋	棄	
3	5	21	朽	求	汲	泣	灸	球	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁	禦	魚	亨	享	京	
3	6	22	謹	近	金	吟	銀	九	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅	串	櫛	釧	屑	屈	
3	7	23	劇	戟	撃	激	隙	桁	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌	建	憲	懸	拳	捲	
3	8	24	伍	午	呉	吾	娯	後	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功	効	勾	厚	口	向	
3	9	25	項	香	高	鴻	剛	劫	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑	忽	惚	骨	狛	込	
3	A	26	材	罪	財	冴	坂	阪	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷲	作	削	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜	鮭	笹	匙	冊	刷	
3	B	27	死	氏	獅	祉	私	糸	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児	字	寺	慈	持	時	
3	C	28	舌	釈	錫	若	寂	弱	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹	綬	需	囚	収	周	
3	D	29	準	潤	盾	純	巡	遵	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐	恕	鋤	除	傷	償	
3	E	30	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲	醸	錠	嘱	埴	飾	
3	F	31	逗	吹	垂	帥	推	水	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉	椙	菅	頗	雀	裾	
4	0	32	窃	節	説	雪	絶	舌	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎	煽	旋	穿	箭	線	
4	1	33	操	早	曹	巣	槍	槽	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗	霜	騒	像	増	憎	
4	2	34	退	逮	隊	黛	鯛	代	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁	諾	茸	凧	蛸	只	
4	3	35	逐	秩	窒	茶	嫡	着	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯	丁	兆	凋	喋	寵	
4	4	36	釣	鶴	亭	低	停	偵	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締	艇	訂	諦	蹄	逓	
4	5	37	凍	刀	唐	塔	塘	套	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等	答	筒	糖	統	到	
4	6	38	奈	那	内	乍	凪	薙	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠	軟	難	汝	二	尼	弐	迩	匂	賑	肉	虹	廿	日	乳	入	
4	7	39	楳	煤	狽	買	売	賠	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠	爆	縛	莫	駁	麦	
4	8	40	彼	悲	扉	批	披	斐	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微	枇	毘	琵	眉	美	
4	9	41	斧	普	浮	父	符	腐	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗	伏	副	復	幅	服	
4	A	42	圃	捕	歩	甫	補	輔	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖	抱	捧	放	方	朋	
4	B	43	摩	磨	魔	麻	埋	妹	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭	繭	麿	万	慢	満	
4	C	44	尤	戻	籾	貰	問	悶	紋	門	匁	也	冶	夜	爺	耶	野	弥	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮	鑓	愉	愈	油	癒	
4	D	45	沃	浴	翌	翼	淀	羅	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧	利	吏	履	李	梨	理	璃	
4	E	46	類	令	伶	例	冷	励	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐	漣	煉	簾	練	聯	
4	F	47																																

□　漢字第二水準

Ｂ１：第一バイト、　Ｂ２：第二バイト

B1＼B2		16	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
		進	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
16進			0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
5	0	0		弋	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂	乖	乘	亂	亅	豫	事	舒	弍	于	亞	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆	仂	仗
5	1	1		僉	僭	傳	僂	僖	僞	僥	僦	僣	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔	兢	競
5	2	2		辦	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勠	勦	勣	勳	勵	勸	勹	匆	匈	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳	匸	區			
5	3	3		咫	哂	咤	哢	哥	哦	唏	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啗	啅	唾	啣	啌	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	唧	唸	喀	喀	喊
5	4	4		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦	圻	址	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垉	垓	垠	埒	埔	埒
5	5	5		奸	妁	妝	佞	佚	妣	妲	姆	姨	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚	婀	娙	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾	嫋	嫂		
5	6	6		屐	屏	孱	屬	屮	屹	岑	屹	岌	岑	岔	妛	岫	岻	岼	岷	峅	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嵎	嵜	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崗
5	7	7		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝	彜	弋	弍	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌	彎	弯	
5	8	8		悄	悛	悖	悗	悃	悚	悋	惡	悸	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕	愆	惶	惷	愀	惴	愃	愆	惚	愜	愁	愍	愎	慝
5	9	9		憂	戞	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	挐	拿	拆	擔
5	A	10		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲	擺	攀	攙	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴	攵	攷	
5	B	11		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰	曳	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿	朶	杁	朽	朷	杞	杠	杙	杣	杤	枉	杰		
5	C	12		楛	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楫	楙	楷	楜	楸	楳	椹	楴	楹	楸	楤	椰		
5	D	13		楪	腟	楹	楡	楙	楾	榛	槞	槾	樒	樑	樢	樛	樣	樓	橄	樻	橲	櫚	欅	欟	櫻	欅	欟	欒	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮
5	E	14		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	淇	淬	淞	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊	涵	淇	
5	F	15		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦	澳	澣	澡	澤	澹	濆	濵	濟	濕	濬	濔	濘	淳
6	0	16		熬	燿	燦	爐	爛	爨	爭	爬	爰	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃	狆	狄	
6	1	17		瓠	瓣	疋	疏	瓮	甦	甬	甯	甎	甕	甄	甃	匰	匳	甌	甎	甍	甕	甓	甦	甬	甲	甼	畛	畋	畊	畉	畛	畚	畝	畤	
6	2	18		癩	癶	癸	發	皂	皃	皈	皋	皎	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	盂	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盼	眈	眄		
6	3	19		磧	磚	磽	磴	磧	礒	礑	礙	礬	礫	祀	祠	祇	祟	祚	祕	祓	祺	祿	禊	禊	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉	秕	秧	
6	4	20		筺	笄	筍	笋	筌	笶	筵	筥	筴	筧	筰	筱	筬	箘	箙	箘	箟	箍	箜	箚	箋	箸	箏	箏	箙	篋	篁	篌	篏	篋	篆	
6	5	21		紂	紜	紕	紊	絅	紘	絮	紲	紿	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵	緇	綽	
6	6	22		罅	罌	罍	罐	罐	网	罕	罔	罘	罟	罠	罨	罩	罅	罸	罽	罸	罨	羈	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羞	羝	羚	羣	羹	羶
6	7	23		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	臀	臂	膺		
6	8	24		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅	茯	茫	茗	荼	荏	莚	莪	莟	莢	莫	莎	莇	莊	茶	莵	荳	荵	莠	莉	莨	菴		
6	9	25		萼	蓼	蓙	蓓	蓋	蓑	蓄	蓳	蔚	蔓	蕭	蕷	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	藐	藉	薺	藏	薹	薮	藕	藝	藥	藜	藹	蘊	蘓	
6	A	26		蝓	蝪	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋	螽	蟀	蟐	雖	螫	蠑	蠏	蠎	蟆	螻	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟯	蟷	蠑	蠖		
6	B	27		襦	襤	襪	襷	襾	覆	覃	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸	訃	訖			
6	C	28		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貍	貎		
6	D	29		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躅	躰	躯	軀	躾	
6	E	30		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘	遞	遨	遯	遙	遨	邂	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈	郛	鄂						
6	F	31		鎰	錢	錚	錣	錻	錵	錻	鍄	鎩	鍠	鍼	鍮	鍖	鎰	鎔	鎚	鍠	鍵	鎰	鎔	鏖	鏡	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鐔	鐓	鐃	鐇
7	0	32		陜	陟	陶	陲	陬	隍	隘	隕	隗	險	隧	隱	隋	隰	隴	隶	隷	隹	雎	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆	霈	霓	
7	1	33		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅	饐	饋		
7	2	34		髫	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧	鬩	鬮	鬨	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟	鮠	鮨		
7	3	35		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶇	鶫	鵺	鶯	鶴	鶲	鶺	鶴	鶻	鶸	鶺	鷁	鷄	鷏	鷓	鷆	鷙	鷦	鷭	鷯	鷽	鸚	鸛	鸞	
7	4	36		堯	槇	遙	瑤																											

B2 / B1		16進	4 0	4 1	4 2	4 3	4 4	4 5	4 6	4 7	4 8	4 9	4 A	4 B	4 C	4 D	4 E	4 F	5 0	5 1	5 2	5 3	5 4	5 5	5 6	5 7	5 8	5 9	5 A	5 B	5 C	5 D	5 E	5 F
16進			32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63
5	0	0	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛	俑	俚	俐	俤
5	1	1	兩	俞	兮	冀	冂	冏	册	冉	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冠	冢	冩	冪	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛	几	處	凩	凭
5	2	2	凵	凾	世	冴	冦	準	卞	卩	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮	廠	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨	叭	叺	吁	吽
5	3	3	呷	寮	啾	喘	喞	單	啼	喃	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	噛	噎	噐	營	嘴	嘶	嘲	嘸
5	4	4	塒	堊	垉	埣	堋	堙	堝	塲	堡	塢	塋	塹	毀	塒	堙	塹	墫	墫	墟	墫	墺	壞	墻	墫	墮	壅	壓	壑	壗	壙	壘	壜
5	5	5	媽	嫣	嫗	婦	嫩	嫖	嫺	嫺	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嫣	嬲	嬢	嬲	嫺	孑	孕	孚	孛	孳	孩	孰	孳	孵	學	孛	孺	宀
5	6	6	崟	嵎	嵐	崔	崢	崚	崙	崘	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵏	嵎	嶄	嶂	嶢	嶝	嶬	嶽	嶸	嶷	嶼	嶺	巍	巓	巒	巖	巛	
5	7	7	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝	悳	忿	怡	恠
5	8	8	慇	慍	慥	愧	慊	愿	愼	愬	愾	慱	慟	慝	慓	慙	慵	慙	慇	慘	慳	慥	慱	慆	慞	慯	慷	慼	慾	慠	憂	憖	憩	憬	憔	憚
5	9	9	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏	掉	掟	掵	捫
5	A	10	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫	斷	旆	旃	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无	旡	旱	杲	昊
5	B	11	朳	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枷	柯	柈	柬	柮	柩	枸	柤	柞	柝	柢	柮	枹	桍	柆	拉	柧	檜	栞	框	栩	桀	桍	栲	桎
5	C	12	楡	楞	楝	榱	楪	榲	槐	榿	槁	槓	梢	椄	棊	椋	椁	棜	椏	棚	楸	椹	楙	榜	榕	榴	槞	樂	樛	橿	權	槨	槿	
5	D	13	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殪	殫	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟	毬	毫	毳	毯	
5	E	14	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒	淅	淺	淙	淤	淦	淪	淮	渭	湮	渮	渙	滲	湟	渾	渣	湫	溘	溧	湓	湍	淳	湃	渺	湎	渤
5	F	15	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁	瀏	濾	瀛	瀚	瀦	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烟	炬	炸	炳	炮	烟	烋	烝
6	0	16	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獣	獵	獻	獺	珈	玳	珎
6	1	17	畧	畫	畛	畸	當	疆	疇	畴	疊	疂	畳	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙	痣	痞	痾	痿
6	2	18	眄	眩	眤	眞	眥	眦	睨	睥	睚	睨	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞼	瞽	瞻	矇	矍		
6	3	19	砠	砭	砫	砰	硝	硯	碓	碕	碵	碪	碯	磆	磧	磅	磔	磚	磴	磯	磽	磚	礇	礒	礑	礙	礫	礬	礦	礪	礫	礱	礴	礵
6	4	20	籌	篩	簔	簔	簍	簗	籠	簀	簇	簑	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簀	簪	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籟	籐	籘	籟	籤	籖	
6	5	21	綫	總	綢	綯	綣	綸	綟	綰	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緙	緘	緕	縣	綷	縒	縱	縟	縉	縋	縒	縡	縟	縹	縄	縷		
6	6	22	贏	譱	翅	翠	翊	翕	翔	翡	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘	聚	聟	聢	聨
6	7	23	臉	臍	臑	臙	臘	膕	臚	臟	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊	舍	舐	舗	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘	艤	艚	艟	艤
6	8	24	萓	董	萓	菽	萃	菘	萋	菁	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆	林	葭	科	蕚	蕘	蒄	葷	葫	蒡	葭	蒂	葩	葆	萬
6	9	25	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘇	蘊	蘿	虎	虒	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蛛	蛉	蠑	蛔	蛞	蛩	蛬	
6	A	26	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠹	蠻	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	衰	袒	袟	袱	袷	袂	衽	袒	袮	袙	袍	袤	袈	袿	
6	B	27	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛	詒	詆	詈	詼	詬	詢	詵	詭	詬	詢	詵	誂	誄	誆	誦	誚	誣	諍	諂	諚	諫	諳	諧	
6	C	28	貔	貅	貘	賊	質	貪	貽	貲	貳	貳	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺	賻	贄	贅	贊	贏	贍	贐	齎	贓	賍	贔	赧		
6	D	29	躰	軀	軋	軛	軼	軻	軫	軾	軽	軺	軽	軅	軼	軛	輓	輜	輟	輌	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	轆	轉	轤	轎	轆	轤	
6	E	30	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酘	酸	酣	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醴	醪	醲	醴	醸	釀	釁	釉	釋	釐	釖	釟	釜	釣	釼	
6	F	31	鐓	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁	鑒	鑄	鑞	鑠	鑢	鑞	鑪	釶	鑰	鑵	鑞	鑚	鑽	鑾	鑼	鑿	閂	閇	閊	閔	閖	閘	閙	
7	0	32	霎	霑	霏	霖	霓	霤	霰	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靆	靆	靉	靜	靠	靤	靦	靨	勒	靫	靱	鞆	鞅	靼	鞁	鞆	鞋	鞏	
7	1	33	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭	馮	馼	駟	駛	駝	駒	駕	駭	駮	駱	駲	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騒	驅	驂	驀	驃	
7	2	34	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鰕	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鰙	鰛	鯱	鯲	鰉	鰈	鰐	鰌	鰆	鰚	鰄	鰲	鰡	鰰	鱇	鰹	鰯	鱒
7	3	35	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈	麋	麕	麒	麕	麝	麥	麩	麸	麪	麺	麻	黌	黎	黏	黝	黜	點	黝	黠	黥	黨	黯		
7	4	36																																

B1＼B2		16進	6 0	6 1	6 2	6 3	6 4	6 5	6 6	6 7	6 8	6 9	6 A	6 B	6 C	6 D	6 E	6 F	7 0	7 1	7 2	7 3	7 4	7 5	7 6	7 7	7 8	7 9	7 A	7 B	7 C	7 D	7 E	7 F
16進			64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95
5	0	0	俥	倚	倨	倔	倪	倥	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆	偃	假	會	偕	修	偈	做	偺	偬	偸	傀	傚	傅	傴	傲	
5	1	1	凰	冂	函	刋	刋	刎	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	劍	劒	劒	剱	劈	劑	辨		
5	2	2	呀	听	吭	吼	吮	吶	吩	吝	呎	咏	呵	咎	咳	呱	呷	呫	告	咒	呻	咀	呟	咄	咐	咆	哇	唬	哽	唚	哮	哈	哢	
5	3	3	噫	噤	噺	噬	噪	噶	噂	噴	噲	噩	噓	噤	噺	噞	噩	噪	噂	噴	噺	噂	噤	噴	噺	噂	噤	口	囘	囿	圀	圃	圉	
5	4	4	壜	壌	壟	壯	壺	壹	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘	奢	奩	奧	奬	奩	
5	5	5	它	宦	宸	寃	寇	崔	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸	尹	屁	屆	屎	屓	
5	6	6	巫	已	巵	帋	帚	帙	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔	幟	幢	幣	幇	幵	并	幺	麼	广	庠	廁	廂	廈	廐	廏	
5	7	7	怙	恠	怩	怎	怱	怛	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恣	悁	悒	悠	恍	恣	恃	恤	悁	恬	恫	恙	悁	悍	惧	悃	悚	
5	8	8	慮	憑	憫	憮	懌	懊	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懾	戀	戈	戉	戍	戌	戔	戞		
5	9	9	捩	摑	揩	揀	揆	揣	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶	攝	搗	揚	搏	搉	摯	搏	摎	攪	撕	撓	撥	撩	撈	撼	
5	A	10	昃	昱	杳	昵	昶	昴	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨	晟	晢	晰	暈	暈	暎	暉	暄	暘	暝	暹	曉	曖	暾	曄	
5	B	11	梳	桍	桾	桁	桝	桿	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	棊	棹	椶	椏	椄	棕	棔	椁	棟	棊	椥	棘	椢	棡	椌	椌	棍	
5	C	12	椶	槧	楹	楾	楹	楙	棟	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橾	橙	橡	檍	檜	檎	檐	檍	檠	檜	檣	檎	檐	檠	檜	檠	檐	檜	
5	D	13	麾	氈	氓	气	氛	氤	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗	泅	泝	沮	沱	沾	
5	E	14	滿	澆	游	滊	溪	溘	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滔	滾	漿	滲	漱	滯	漲	滌	
5	F	15	烙	焉	烽	焜	焙	煥	煕	熙	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄	熕	燼	熬	燹	煖	熙	燵	燒	燉	燔	燎	燠	燬	燧	燵	燼
6	0	16	玻	珀	珥	珮	珞	璢	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞	璧	瓊	瓏	瓔	珱	
6	1	17	痼	瘁	痰	痺	痲	痳	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨	癪	癩	癬	癰		
6	2	18	蠱	矚	矜	矣	矮	矼	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硼	磧	硼	磑	礪	磆	磋	碵	碪	磁	磴	礎	碟	碾	碼	磅	磊	磬	
6	3	19	窶	竅	竇	窿	邃	竇	竊	竚	竡	竢	竍	竝	竚	竦	竰	竢	竝	竡	竢	竦	竰	竢	竝	竡	竢	竦	竰	竢	竝	竡	竢	
6	4	20	籥	籬	籵	粧	粐	粤	粭	粢	糎	粡	粕	粳	粲	粱	粮	粹	粽	糀	糅	糘	糘	糀	糜	糢	糲	糯	糲	糲	糲	糲	糲	
6	5	21	纔	縺	繧	繝	繖	繞	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽	辮	繿	纈	纉	纉	纏	纈	纓	纔	纖	纎	纜	缸	缺		
6	6	22	聳	聲	聰	聶	聹	聽	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬	胛	胥	胙	胃	胚	胖	脉	胯	胱	脛	脩	脣	脯	腋		
6	7	23	舸	艟	艚	艫	舮	艱	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	荐	荜	茖	茆	茉	苣		
6	8	24	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹	蒿	蒟	蓙	蓍	蓊	蒐	蓚	蓁	蓆	蓖	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔	蓼	蔭	蕣	蕘	蕈	
6	9	25	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈	蜀	蜑	蛻	蜑	蛩	蜍	蛹	蜊	蝪	蜿	蛯	蜷	蜻	蜥	蜩	蜑	蝙	蝠	蝸	蝌	蝎	蝴	蝗	蝨	蝙	
6	A	26	袱	袴	衍	裔	裘	裙	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶	褸	襌	褝	襠	襞	
6	B	27	諤	諱	謔	諠	諢	諷	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎	證	譖	譛	譚	譫	
6	C	28	赭	赱	赳	趁	趙	跂	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟	踉	踔	踵	踰	踴	蹊
6	D	29	轢	轣	轤	辜	辟	辣	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邉	迴	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋	逕	逶	逵	達	逝	
6	E	30	釵	釶	鈎	釿	鈔	鈬	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿	鉋	鉐	銜	鉾	銓	鉐	銛	鋏	鋪	銷	鋐	鉶	銹	鋏	鋩	
6	F	31	閏	閏	閧	閊	閖	閊	閹	閾	閼	潤	閹	闇	闌	闕	闔	闖	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌	陏	陋	陷	陜	陞	
7	0	32	靹	鞜	鞨	鞦	鞣	鞐	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	齪	竟	韶	韵	頌	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆	顔	顋	顫	顯	顰	
7	1	33	驟	驕	驍	驛	驗	驟	驢	驥	驤	驪	驫	驩	骭	骰	骼	髀	髏	髑	髓	體	髞	髟	髷	髣	髴	髯	髫	髱	髷	髭	髱	
7	2	34	鰌	鰊	鰲	鱚	鰾	鱚	鰌	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫	鴃	鴆	鴪	鴟	鴒	鴇	鵆	鵐	鴕	鴿	鵁	鵜	鵠	鵡	鵙	
7	3	35	黴	黶	黷	黼	黻	黼	黜	黧	黽	鼈	鼡	鼬	鼕	鼠	齊	齒	齟	齠	齟	齠	齡	齦	齬	齪	齟	齲	齶	龕	龜	龠	
7	4	36																																

□　特殊文字

２４ドットフォントのみ使用できます。

Ｂ１：第一バイト，　Ｂ２：第二バイト

B1＼B2		16進	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
			0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
16進			0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
2	A	10		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
2	B	11		(a)	(b)	(c)	(d)	(e)	(f)	(g)	(h)	(i)	(j)	(k)	(l)	(m)	(n)	(o)
2	C	12		㋾	☎	Tel	No.	FAX	K.K	株式会社	明治	大正	昭和	(株)	(代)	(内)	(呼)	(注)
2	D	13		mm	cm	km	cm²	m²	km²	cm³	m³	mg	kg	mℓ	dℓ	ℓ	kℓ	cc
2	E	14		♧	♣	♤	♠	♡	♥	◇	◆	⇨	⇦	⇨	⇦	⇩	⇧	◁
2	F	15		◎	○	ö	♀	⌖	⚹	┬	⊗	☒	X	Y	火	⊕	㊡	↻

B1＼B2		16進	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
			0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
16進			16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
2	A	10	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	0.	1.	2.	3.	4.	5.	6.	7.	8.	9.	(1)
2	B	11	(p)	(q)	(r)	(s)	(t)	(u)	(v)	(w)	(x)	(y)	(z)	Ä	Ö	Ü	ä	ë
2	C	12	㊎	㊍	㈱	㊌	㊐	㈲	㊋	㊊	㊑	㊒	㊏	㊎	㊍	㊌	㊐	㊊
2	D	13	Hz	mb	sec	ms	μs	ns	ps	KB	MB	GB	HP	ミリ	センチ	メートル	キロ	ミリメートル
2	E	14	▷	↗	↘	↖	↙	☞	☜	○	●	×	◎	✓	!!	▩	⊕	☼
2	F	15	戸	☼	☼	文	⊗	文	文	⊕	日	卍	口	冂	冂	♪	⌗	☼

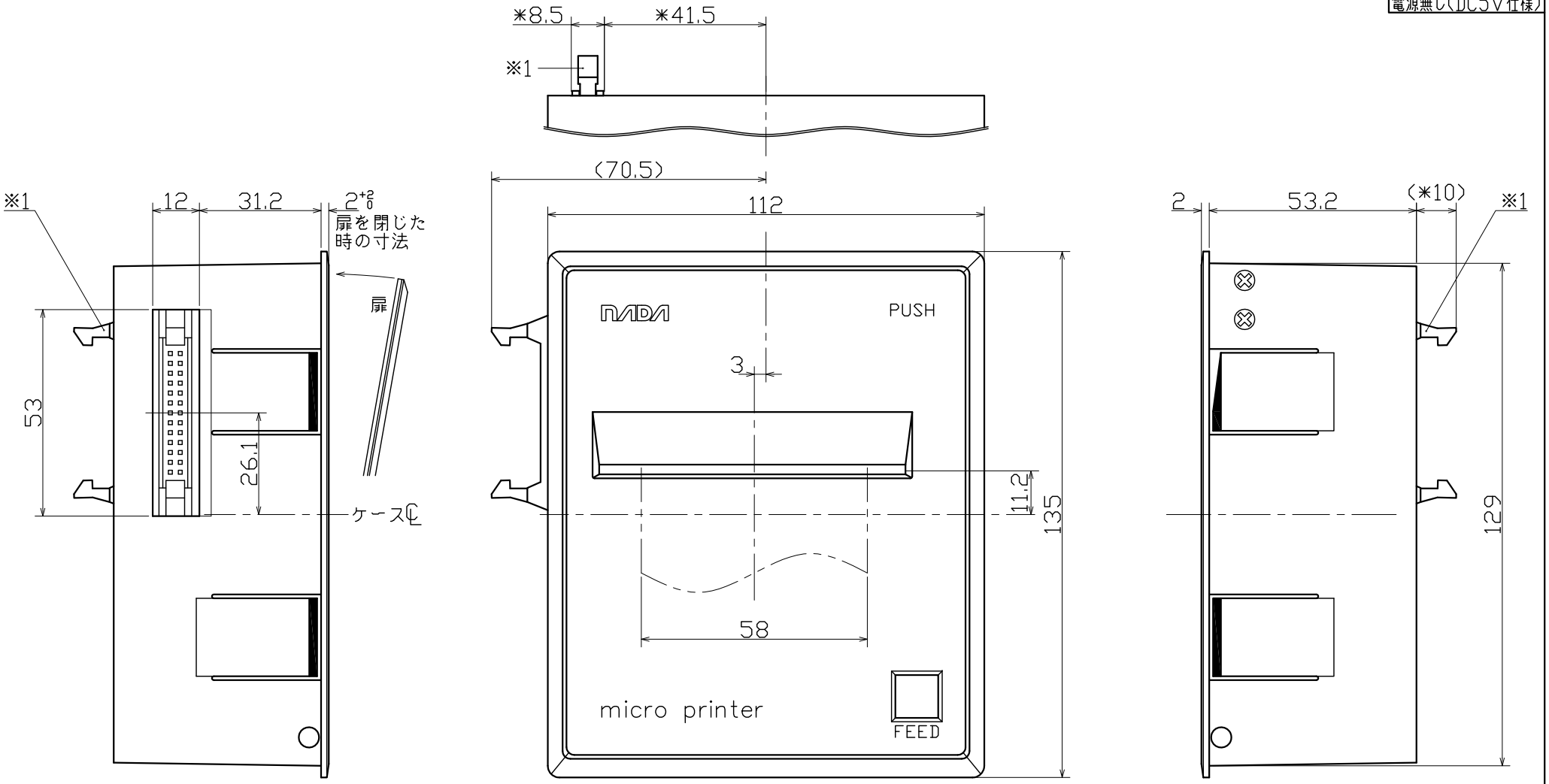
B1＼B2		16進	4 0	4 1	4 2	4 3	4 4	4 5	4 6	4 7	4 8	4 9	4 A	4 B	4 C	4 D	4 E	4 F
16進			32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47
2	A	10	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	I	II	III	IV	V	VI	VII
2	B	11	ï	ö	ü	Ç	â	á	à	ç	ê	é	è	î	í	ì	ô	ó
2	C	12	(営)	(事)	(支)	(セ)	(調)	(印)	(秘)	(労)	(夜)	(企)	(医)	(編)	(名)	(安)	(労)	(学)
2	D	13	ミリバール	インチ	フィート	ヤード	グラム	キログラム	トン	アール	ヘクタール	ドル	セント	パーセント	カロリー	ワット	キロワット	ホーン
2	E	14	☁	☂	☃	☄	○	◐	◎	⊗	Ⓢ	Ⓢ	⊕	⊙	●	◒	⊗	◬
2	F	15	⌒	⌐	∴	♨	♨	♨	✕		⚓	⚓	⚓	†	▲	⌀	✈	⚑

B1＼B2		16進	5 0	5 1	5 2	5 3	5 4	5 5	5 6	5 7	5 8	5 9	5 A	5 B	5 C	5 D	5 E	5 F
16進			48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63
2	A	10	Ⅷ	Ⅸ	Ⅹ	ⅰ	ⅱ	ⅲ	ⅳ	ⅴ	ⅵ	ⅶ	ⅷ	ⅸ	ⅹ	½	⅓	⅔
2	B	11	ò	û	ú	ù	Ñ	ñ	¿	¡	æ	Æ	œ	Œ	ɑ	á	à	ʌ
2	C	12	(有)	(株)	(社)	(代)	(資)	(財)	(上)	(中)	(下)	(左)	(右)	©	®	平成		
2	D	13	ミリバール	ヘルツ	ページ	アパート	ビル	マンション	コーポ	ハイツ	リットル	∮	Σ	∟	Σ	//	‴	↔
2	E	14	◬	◒	⊗	キ	ッ	ニ							≷	𝄞		
2	F	15	◭	⌀	♿	禾	☕	🍴	🥤	Ⓟ	⚠	⊡	・	‴	ˇˇ	♁	ˇˇ	∴

B2 / B1		16進	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
			0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
16進			64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79
2	A	10	¼	¾	⅕	1/20	1/100			㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗	㉘	㉙
2	B	11	ɐ́	ɑ̀	ɘ	ɘ́	ɘ̀	æ	ǽ	æ̀	ɛ	ɛ́	ɛ̀	ɔ	ɔ́	ɔ̀	ŋ	θ
2	C	12	㊬	㊭	Δ	㊮	㊯	㊰		(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	(19)
2	D	13	⇄	⊕	⊖	∓	≃	≲	≳	ħ	ʊ	⊗						
2	E	14																
2	F	15	° ₀	° ₀	^ ^	˗ ˗	˗ ˗	˗ ˗	˗ ˗	˗ ˗	˗ ˗	☰	⁘	⁻	⌓	⊞	≍	⎧

B2 / B1		16進	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
			0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
16進			80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95
2	A	10	㉚	XI	XII				xi	xii				㉛				
2	B	11	ð	ʃ	ʒ	ː	ɚ	ɚ́	ɚ̀	∂	ɣ							
2	C	12	(20)	(21)	(22)	(23)	(24)	(25)	(26)	(27)	(28)	(29)	(30)	(31)				
2	D	13			づ													
2	E	14																
2	F	15																

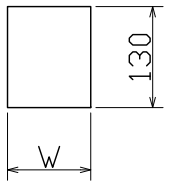
使用機種
電源無し(DC5V仕様)



パネルカット寸法

パネル厚1.2～2.5t迄

板　厚	W
1.2～2	107
2.5	107.5



ケース色、印刷色

1　本体、扉：ライトグレー

2　印刷色　：ブルー　DIC140

注意

1　※1はコネクタ背面出しの場合とする。

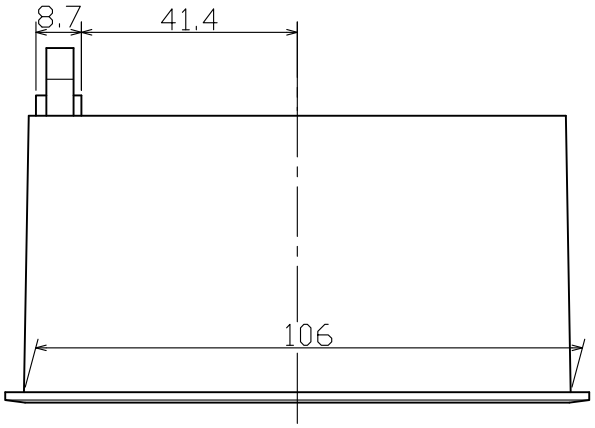
2　＊寸法はコネクタ背面出しの場合とする。

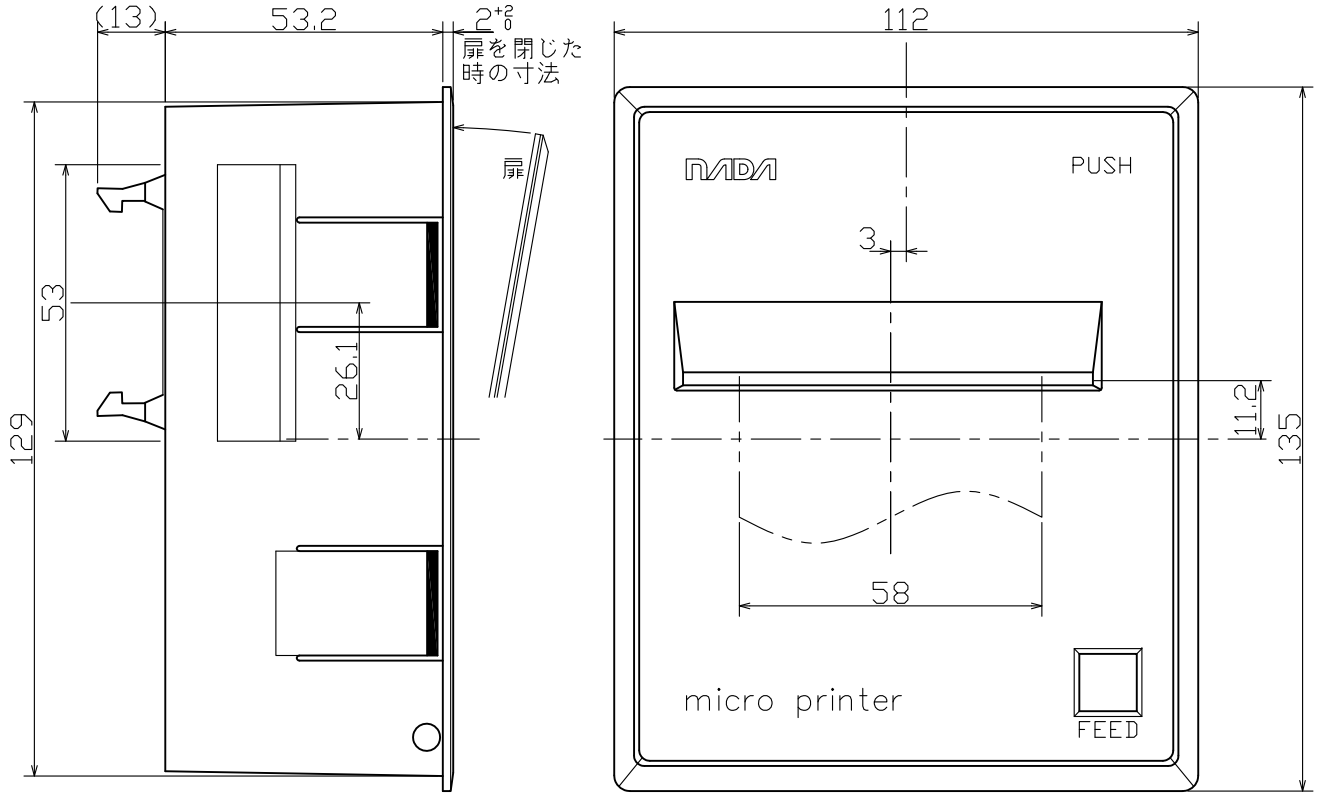
指示無き公差は±0.5とする。

改訂符号	記事	年月日	担当	年月日	承認	審査	設計	作成
△	コネクタ背面出し追加							

尺度	第3角法	一組所要分数	名称	マイクロプリンタ外観図8
			図番	ND123-028△

使用機種
電源無し(DC5V仕様)





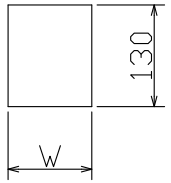
ケース色、印刷色

1	本体、扉	：ライトグレー
2	印刷色	：ブルー　DIC140

パネルカット寸法

パネル厚1.2～2.5t迄

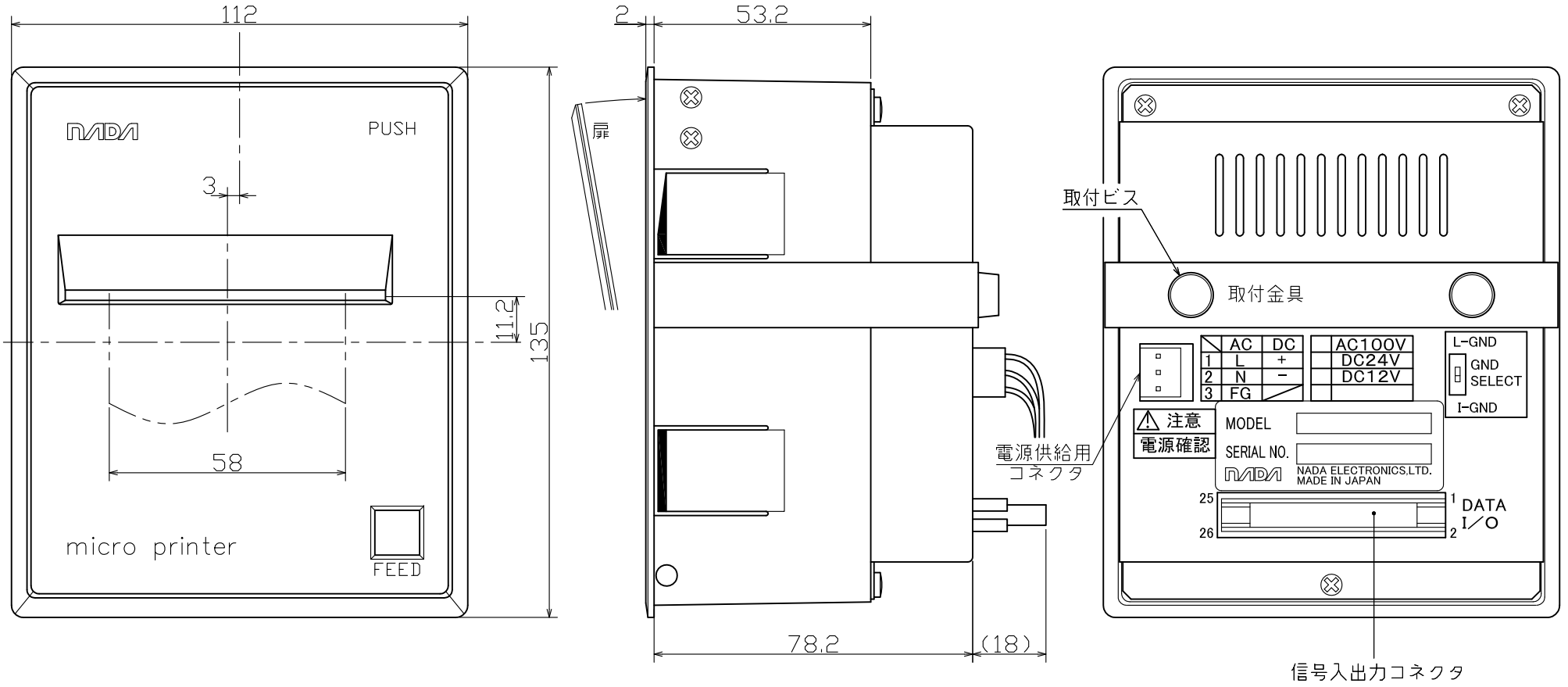
板　厚	W
1.2～2	107
2.5	107.5



指示無き公差は±0.5とする。

改訂	符号	記事	年月日	担当	年月日	承認	審査	設計	作成	尺度	第3角法	一組分数	所要数	名称	カッタ付マイクロプリンタ外観図9
														図番	ND123-029

使用機種
電源付



ケース色、印刷色

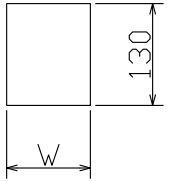
1	本体、扉	：ライトグレー
2	印刷色	：ブルー　DIC140
3	電源ユニット	：ベージュ
4	同上印刷色	：ブラック

注　意

1　指示無き公差は±0.5とする。
2　GND SELECT スイッチはアイソレート仕様の場合のみ

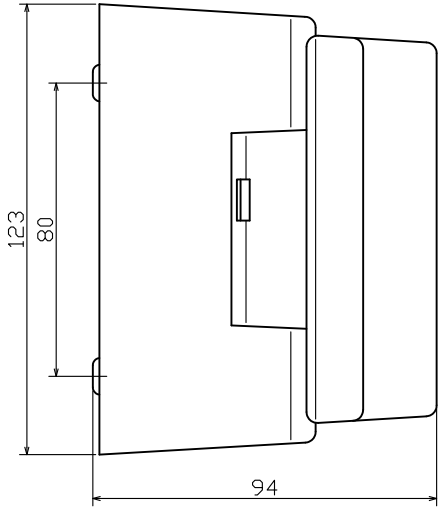
パネルカット寸法
パネル厚1.2～2.5t迄

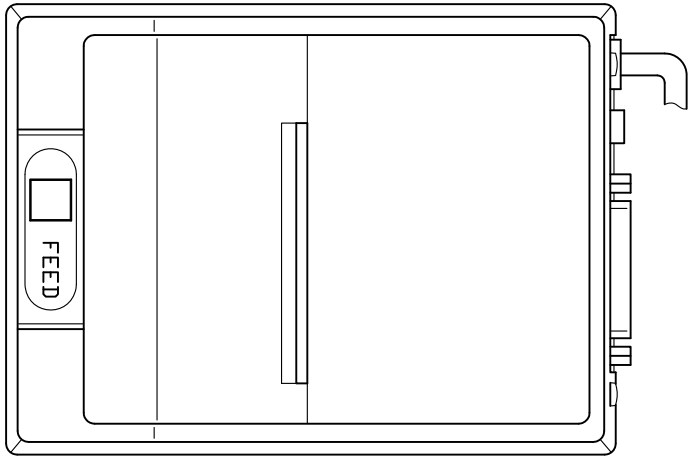
板　厚	W
1.2～2	107
2.5	107.5

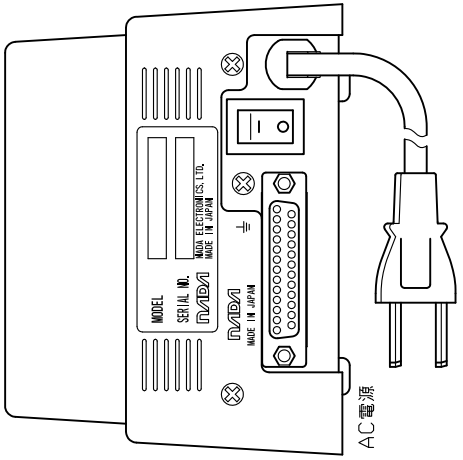


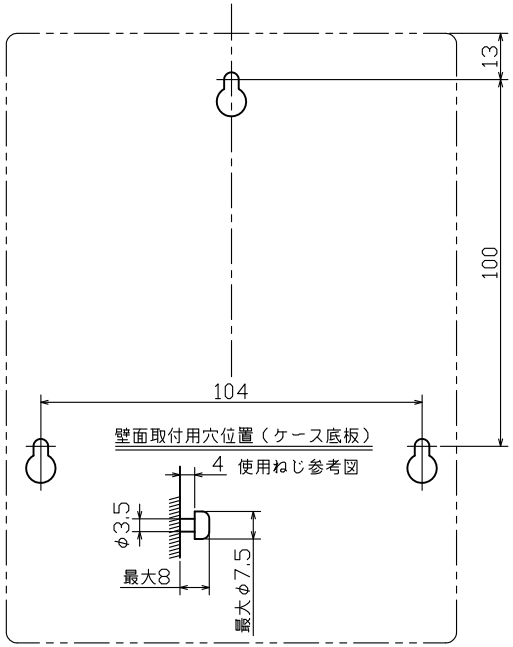
改訂	符号	記事	年月日	担当	年月日	承認	審査	設計	作成	尺度	第3角法	一組所要分数	名称	図番
													マイクロプリンタ外観図10	ND123-030

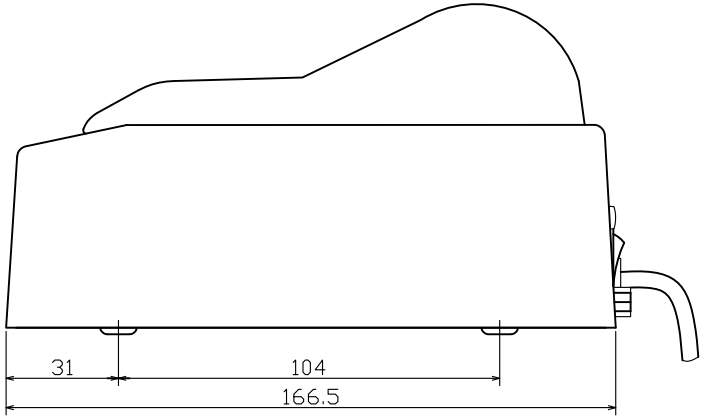
使用機種
マイクロプリンタ

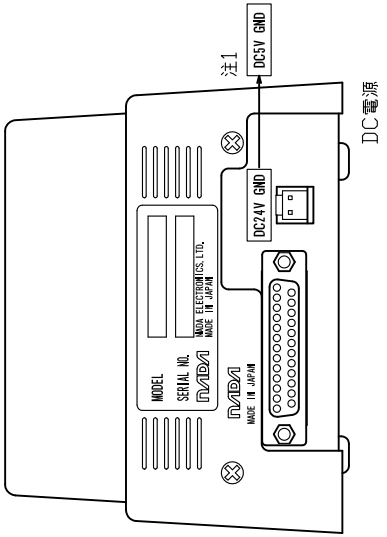












注　意

1　DC5V仕様の時

NOTE

1　DC電源入力の場合、電源スイッチはありません。
2　底面には壁面取付用の穴が前方１個、後方に２個設けてあります。
3　壁面への取付時のねじに注意しケース内部に５mm以上入れないで下さい。
4　壁面への取付はロール紙ホルダー側を下側にして下さい。
5　指示無き公差は±0.5とする。

改訂	符号	記事	年月日	担当	年月日 承認	尺度	第3角法	所要個数	名称	AC100V,DC24V 外観図
					審査	設計	作成		図番	ND123-031

NADA

ナダ電子株式会社

本　　社　神戸市東灘区本山南町1丁目4番43号　〒658-0015
TEL(078)413-1111　FAX(078)412-2222

東　京(営)　東京都港区芝4丁目5-11　芝プラザビル　〒108-0014
TEL(03)3455-4230　FAX(03)3455-4249

名古屋(営)　名古屋市名東区上社1-1304　北村第三ビル　〒465-0025
TEL(052)776-1921　FAX(052)775-6080

福　岡(営)　福岡市博多区博多駅南1丁目7-16　オーリン7号ビル　〒812-0016
TEL(092)471-8305　FAX(092)471-8355

仙　台(営)　仙台市宮城野区榴岡5丁目1番15号　〒983-0852
TEL(022)256-0211　FAX(022)292-1610